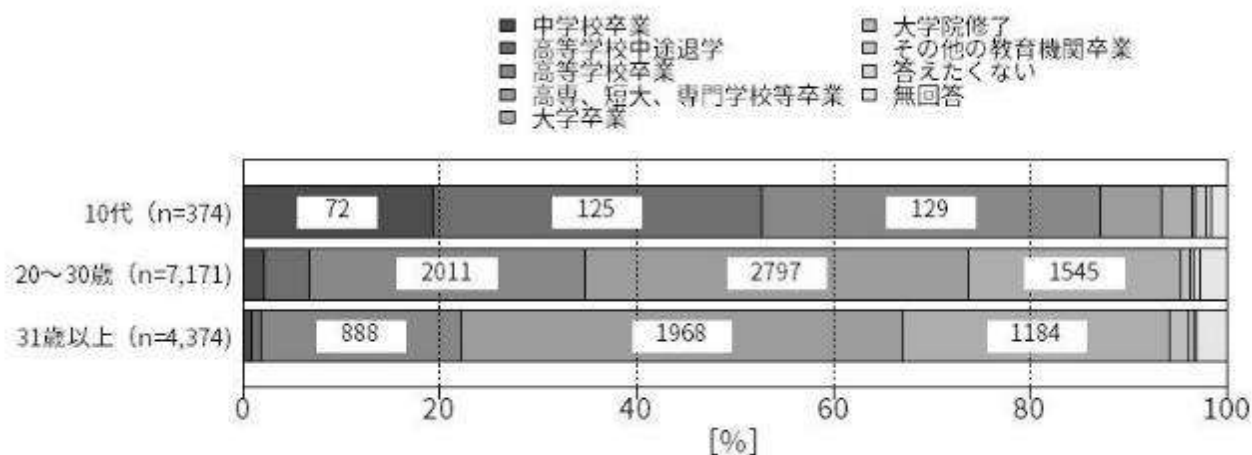


初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴（問 33×問 8-母）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

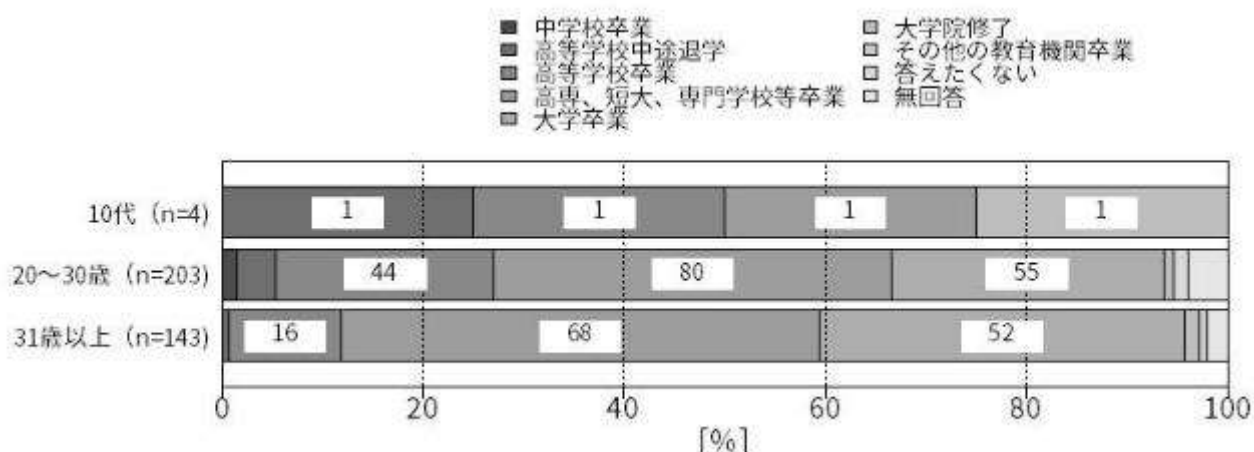


図 95. 初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴（母親）
※母親が回答者の場合に限定

「初めて親となった年齢」を基準に、10代で初めて親となった10代群、平均出産年齢以下の年齢で初めて親となった平均以下群（20～30歳）、平均出産年齢以上の年齢で初めて親となった平均以上群（31歳以上）を設けた（平均出産年齢については下記 URL を参照）。

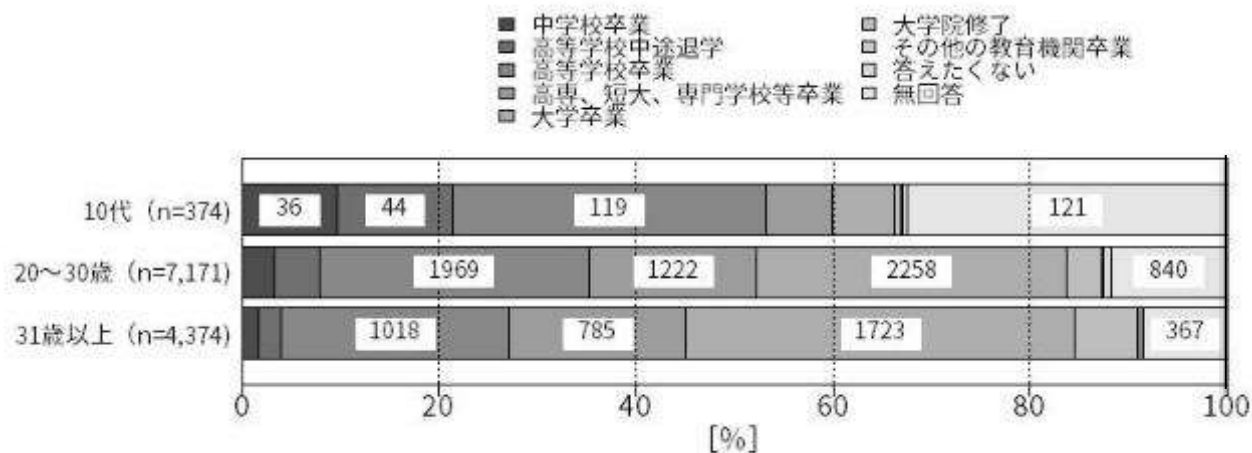
10代群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

平均出産年齢

http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2013/25webhonpen/html/b1_s1-1.html

初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴（問 33×問 8-父）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

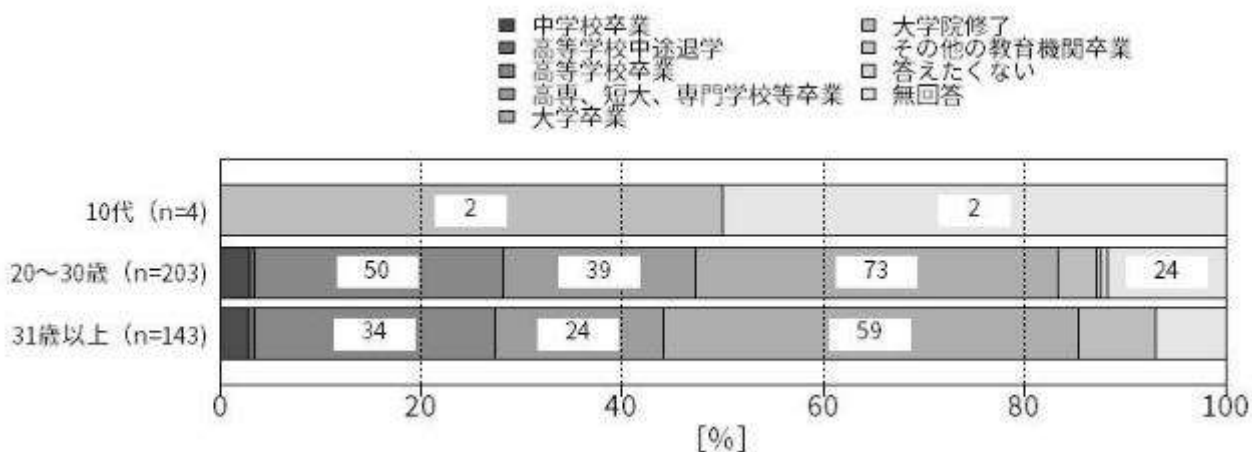
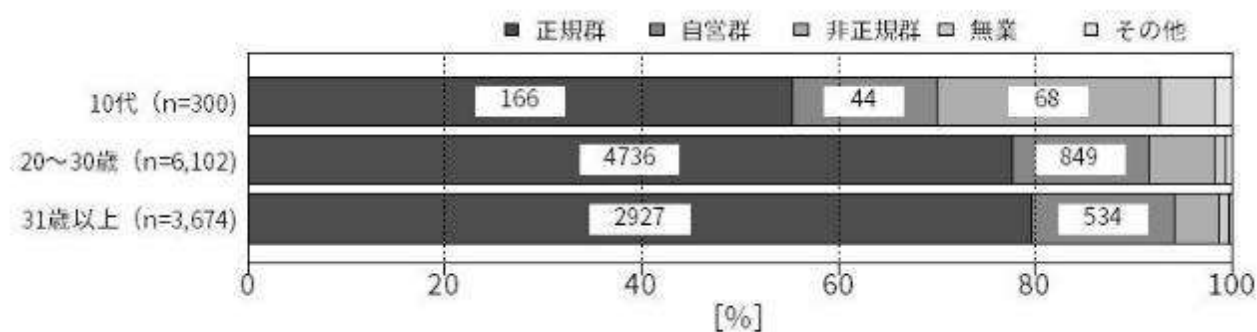


図 96. 初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴（父親）
※母親が回答者の場合に限定

10 代群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、就労状況（問 33×問 8）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

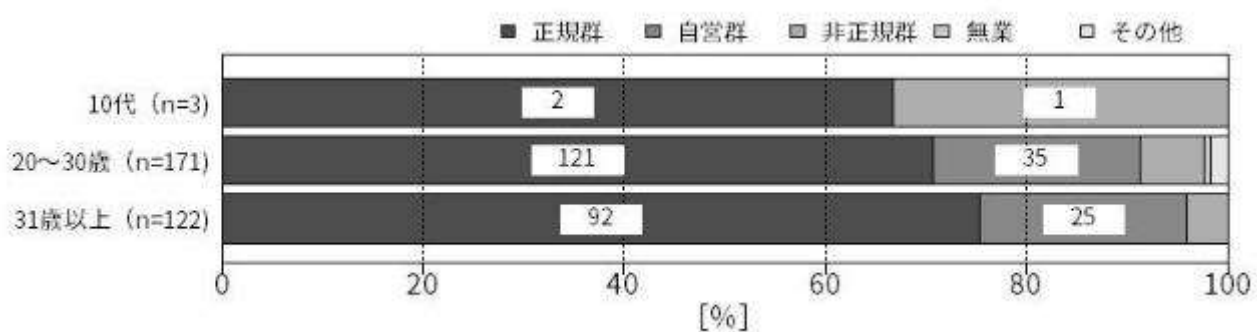


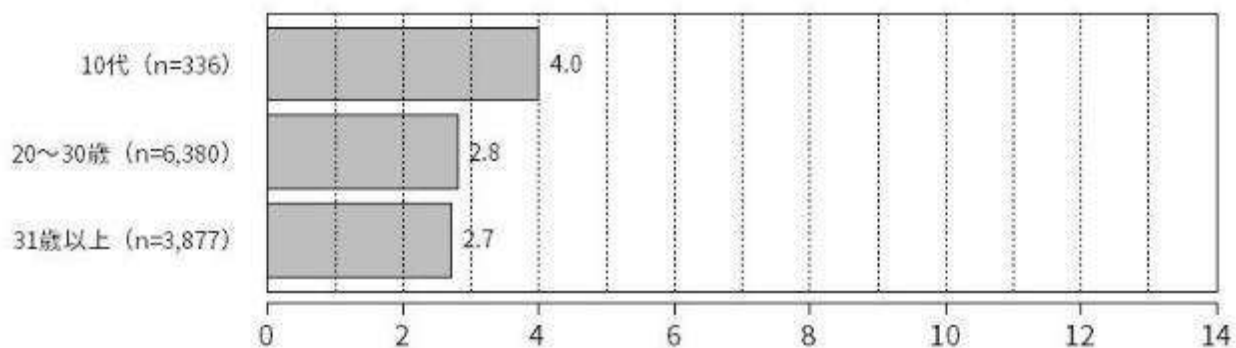
図 97. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況
※母親が回答者の場合に限定

10 代群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、体や気持ちで気になること（問 33×問 37）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

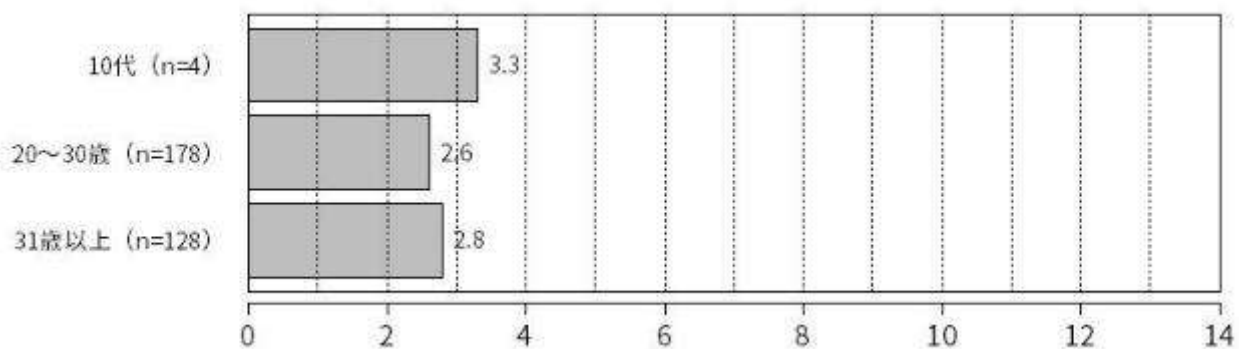


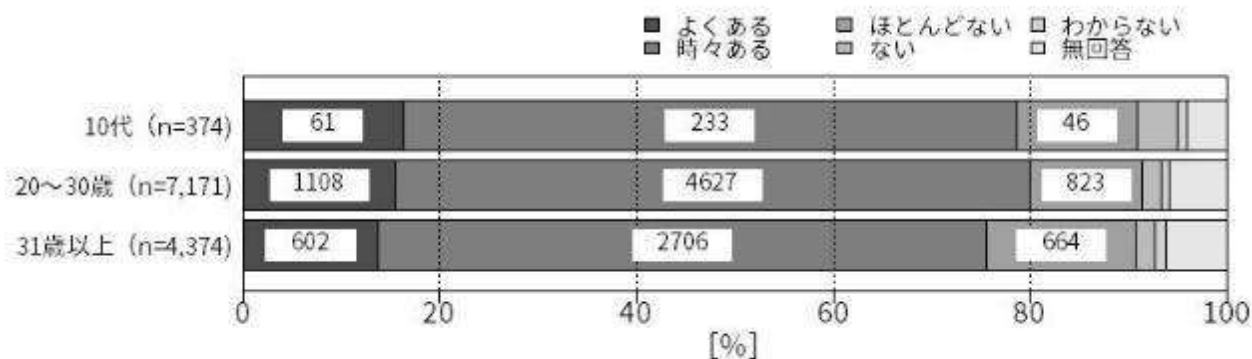
図 98. 初めて親となった年齢別に見た、体や気持ちで気になること

※母親が回答者の場合に限定

10 代群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどを子どもに向ける頻度（問 33×問 38）
※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

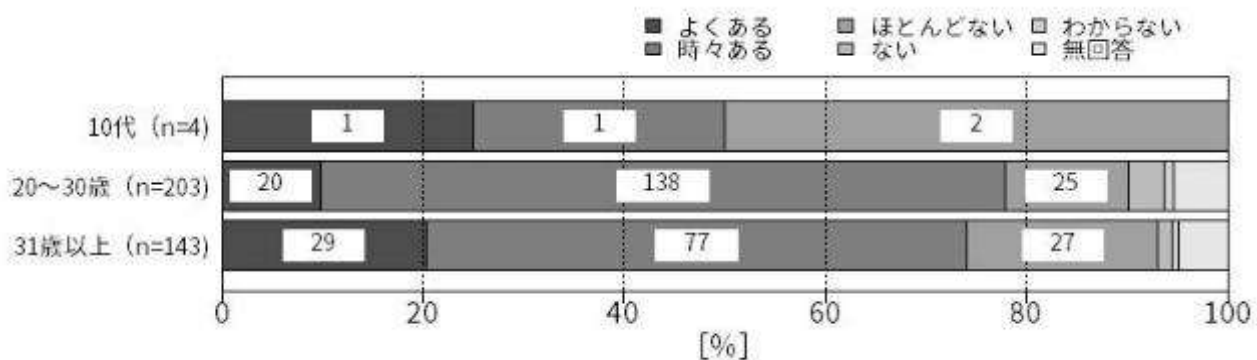
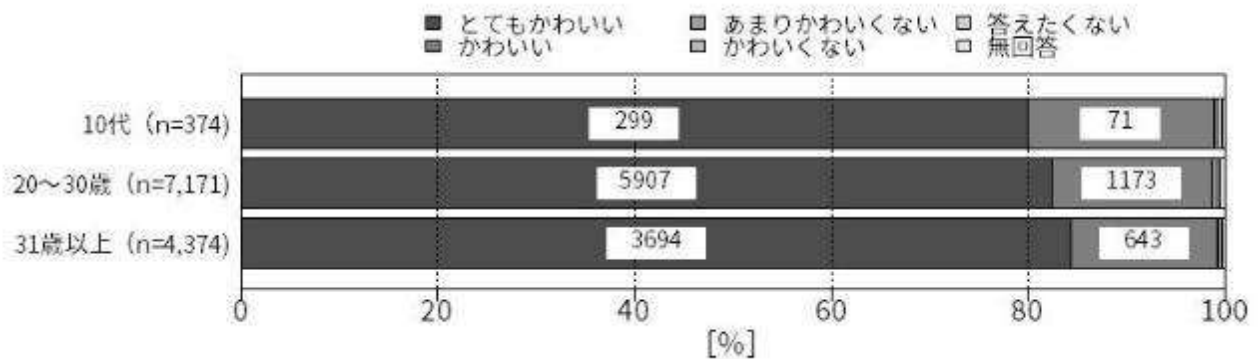


図 99. 初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどを子どもに向ける
※母親が回答者の場合に限定

10 代群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。20～30 歳群、31 歳以上群で大きな差は見られなかった。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか（問 33×問 31-1）
※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

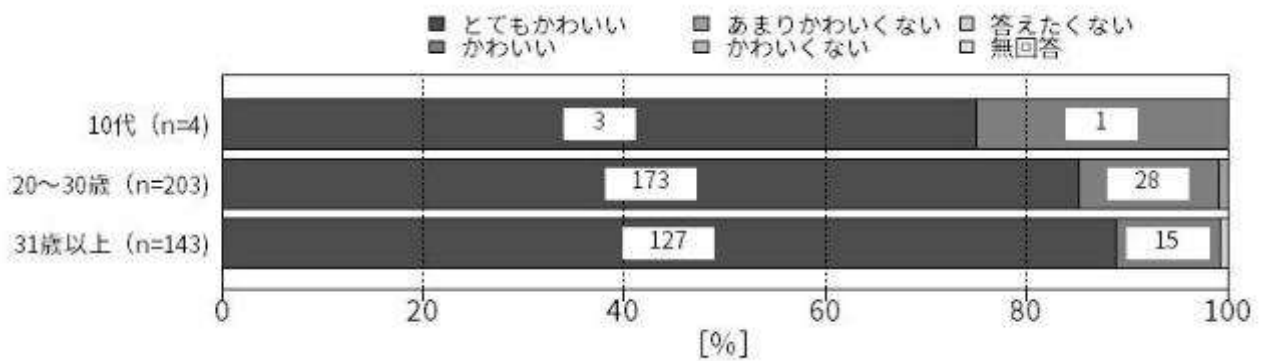
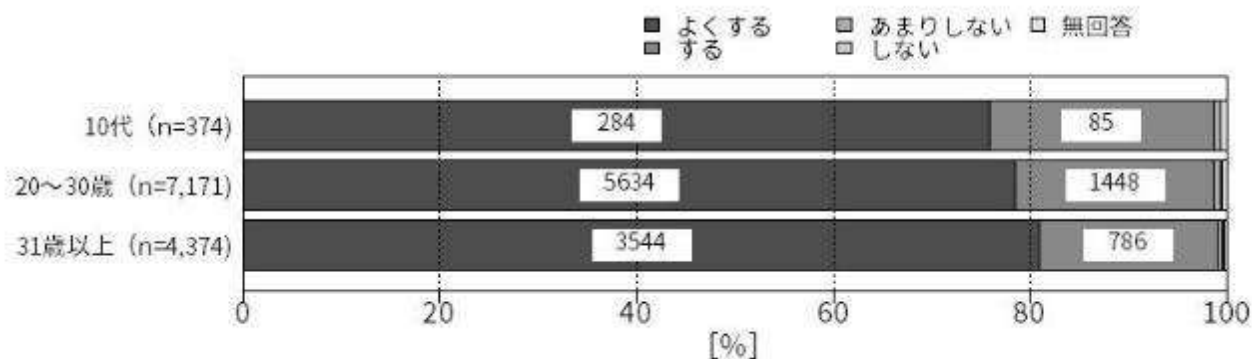


図 100. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（１）子どもをかわいいと思うか
※母親が回答者の場合に限定

10 代群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。
いずれも「とてもかわいい」が 8 割前後であった。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（２）子どもと会話（問 33×問 31-2）
※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

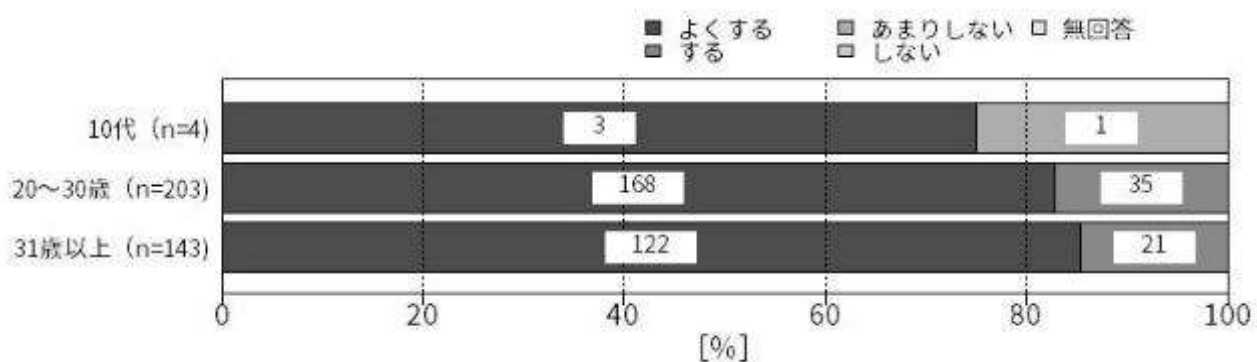
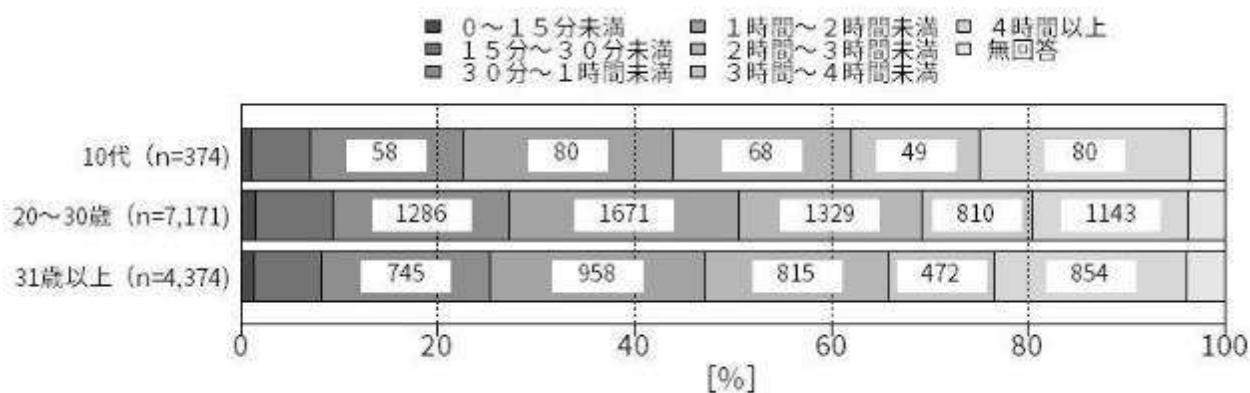


図 101. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（２）子どもと会話
※母親が回答者の場合に限定

10 代群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。
いずれも「よくする」が 8 割前後であった。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）
 （問 33×問 31-3-平日）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

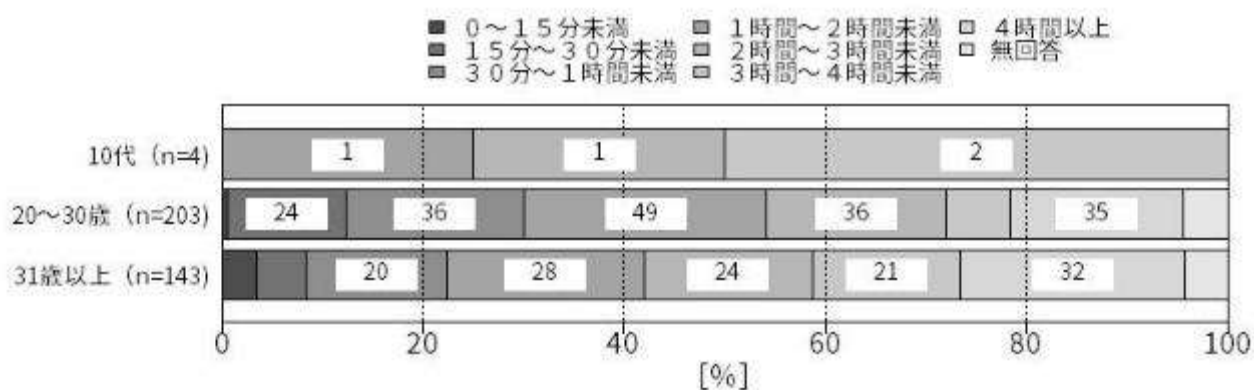
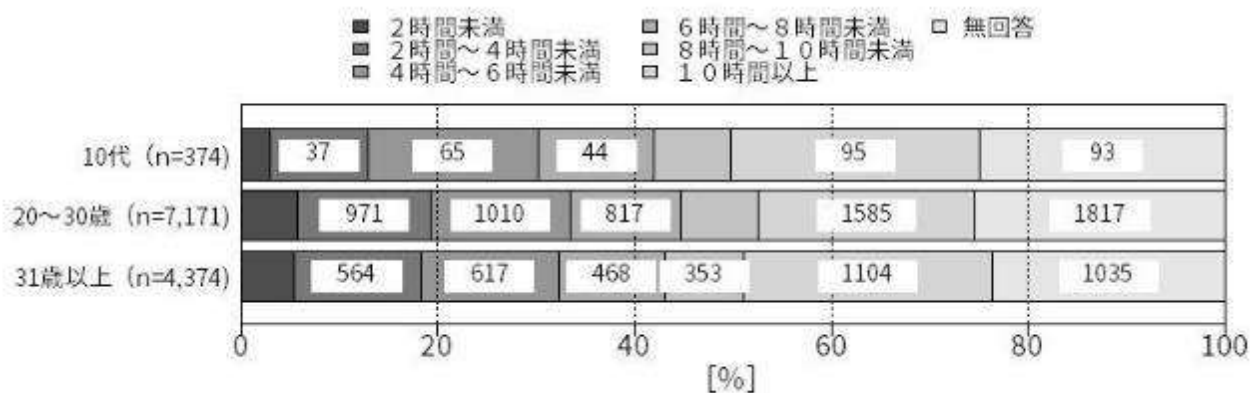


図 102. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（平日）
 ※母親が回答者の場合に限定

10 代群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（休日）
 （問 33×問 31-3-休日）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

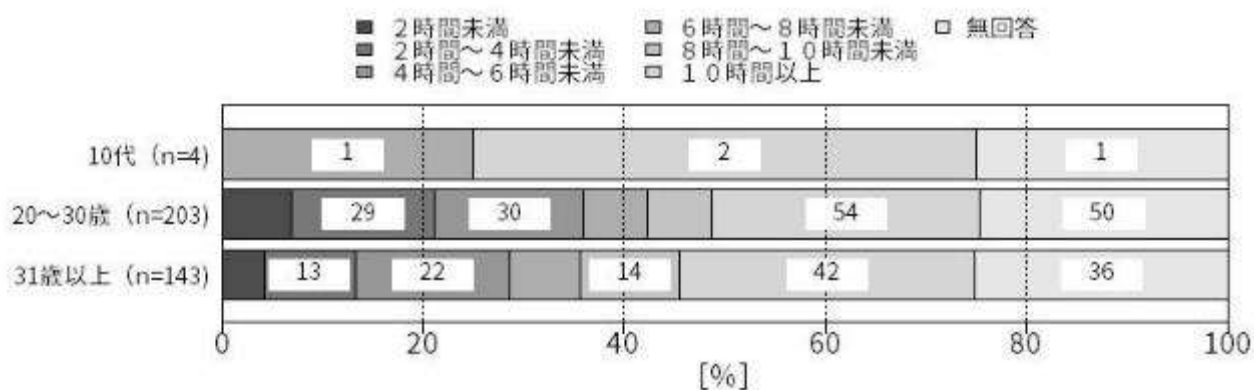
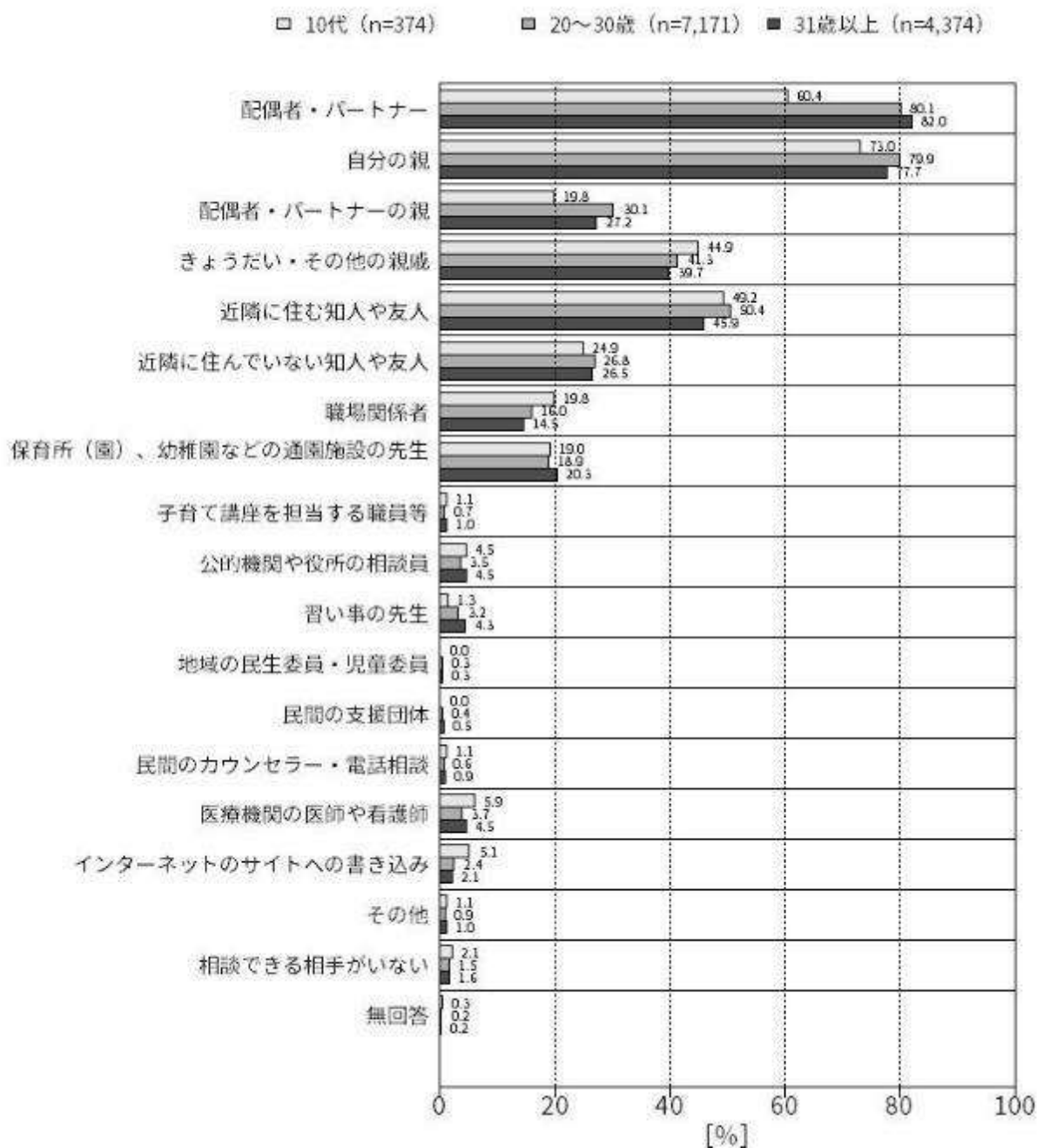


図 103. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（３）子どもと一緒にいる時間（休日）
 ※母親が回答者の場合に限定

10 代群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、相談相手（問 33×問 35）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

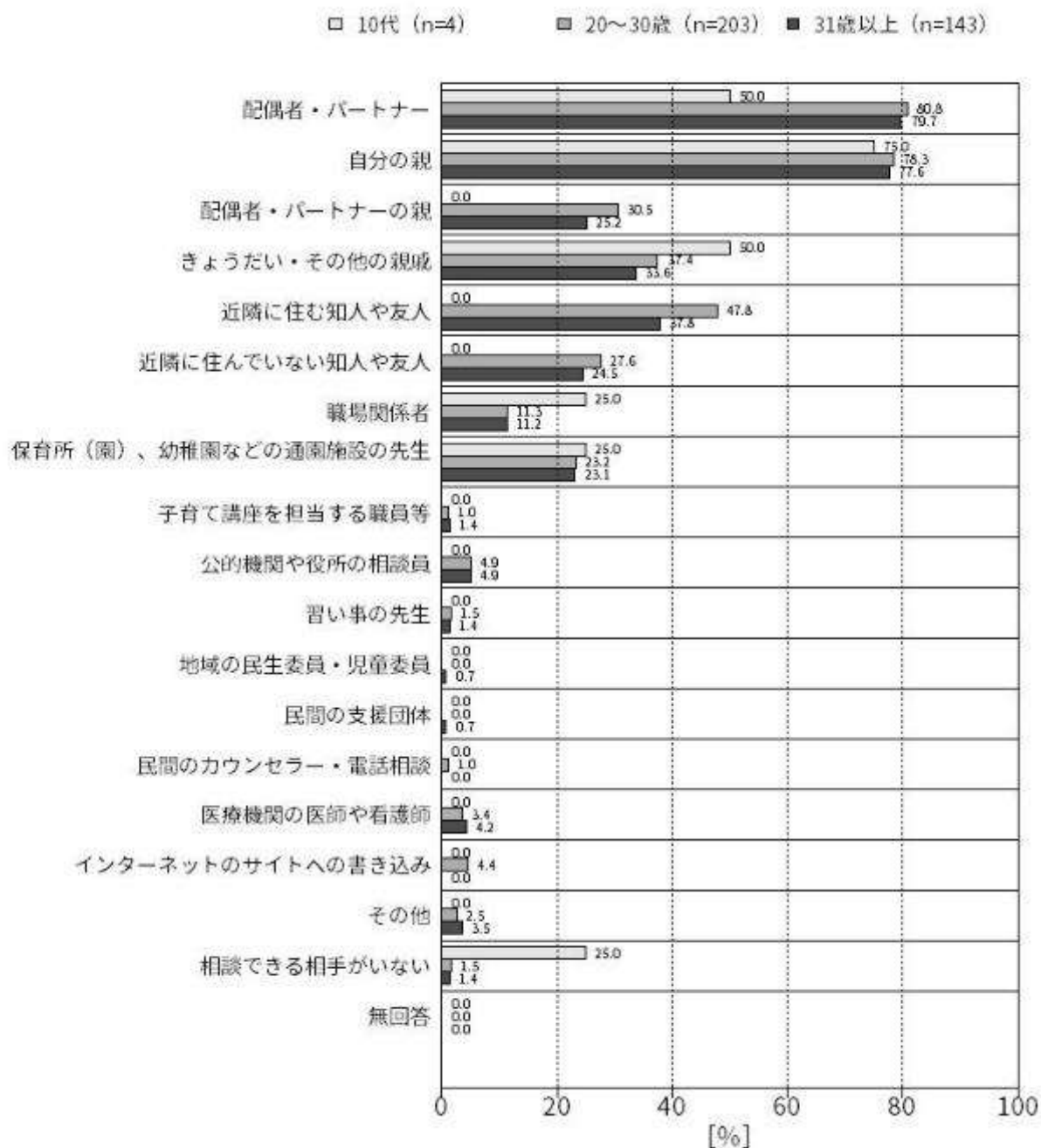
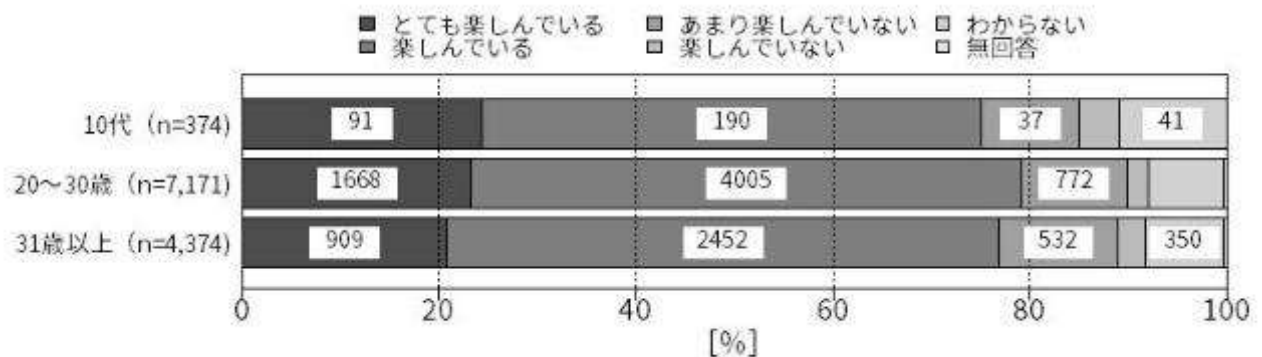


図 104. 初めて親となった年齢別に見た、相談相手
※母親が回答者の場合に限定

10 代群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできないが、「相談できる相手がいない」という回答が 10 代群で見られている。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる（問 33×問 36-1）
※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

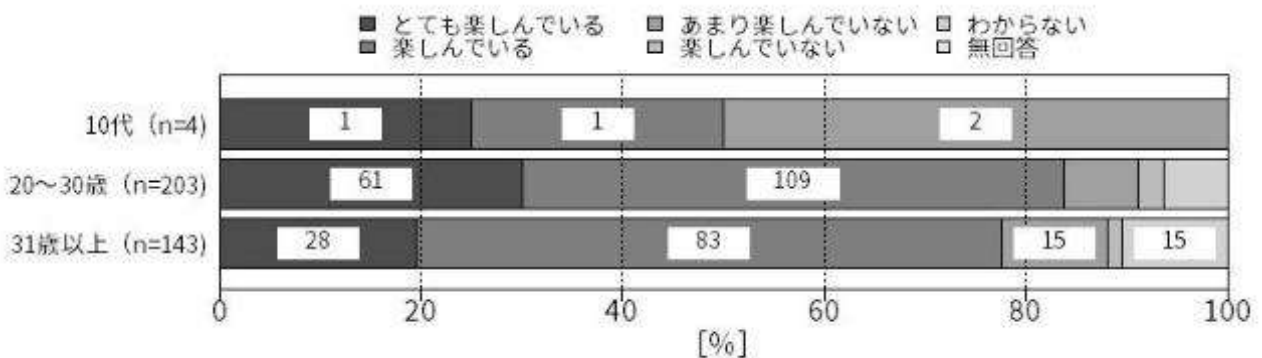


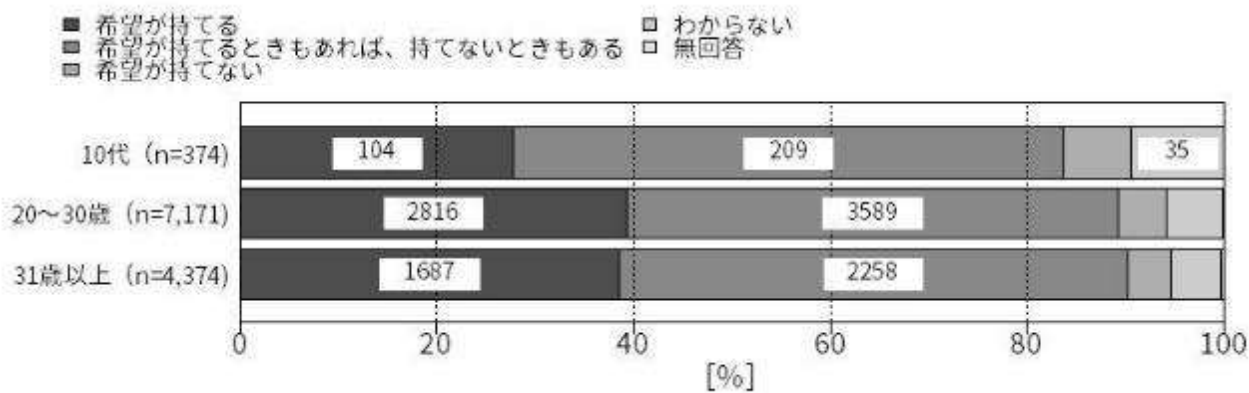
図 105. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（１）生活を楽しんでいる
※母親が回答者の場合に限定

10 代群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（２）将来への希望（問 33×問 36-2）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

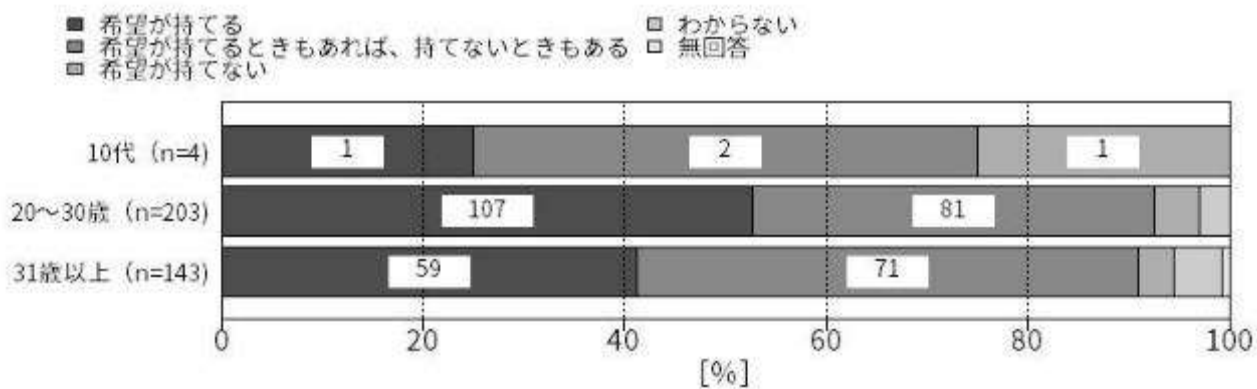
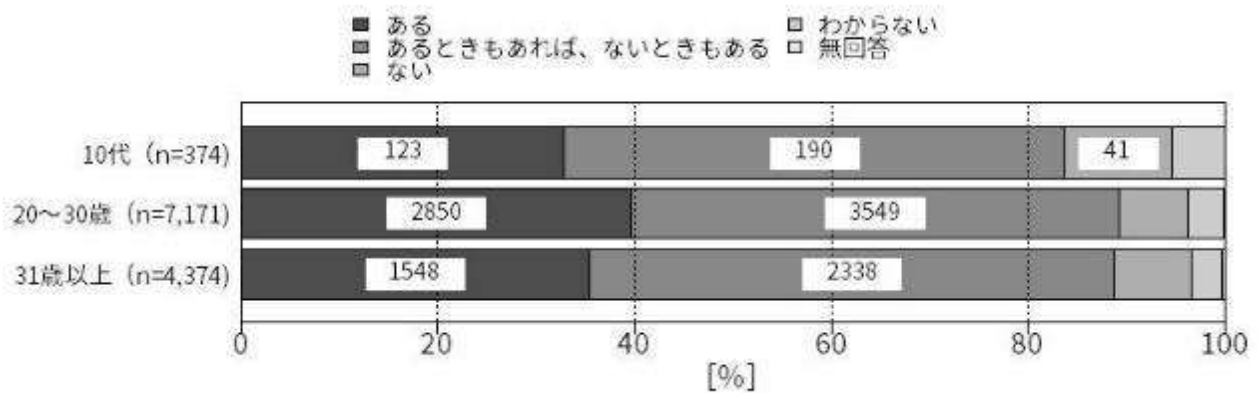


図 106. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（２）将来への希望
※母親が回答者の場合に限定

10 代群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの
（問 33×問 36-3）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

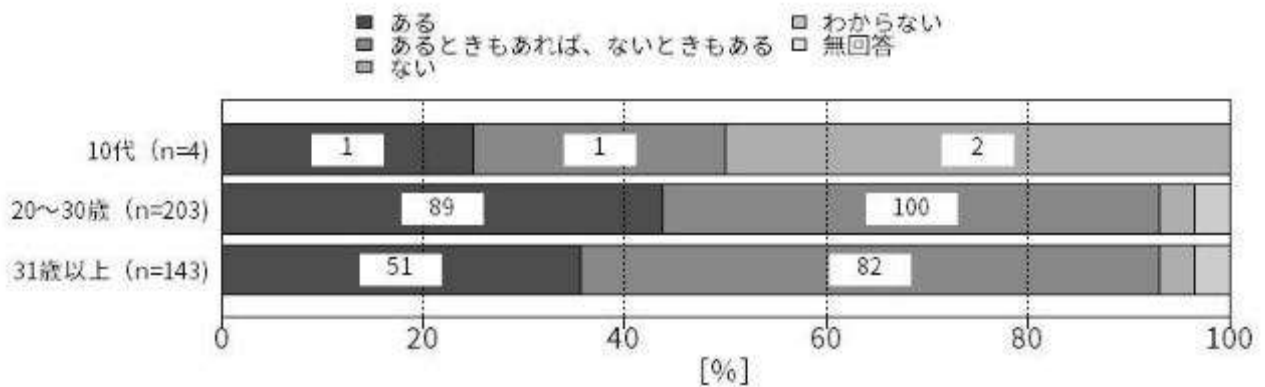


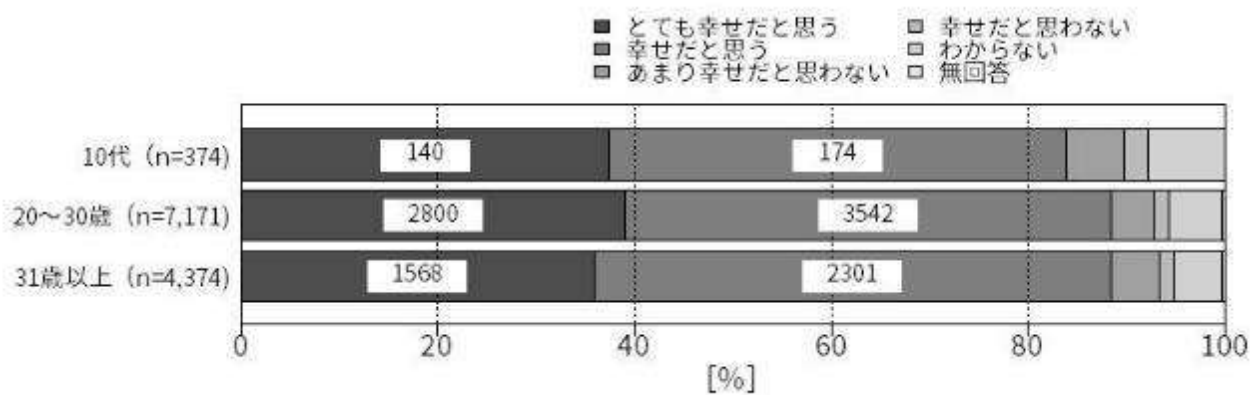
図 107. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（３）ストレス発散できるもの
※母親が回答者の場合に限定

10 代群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 33×問 36-4）

※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

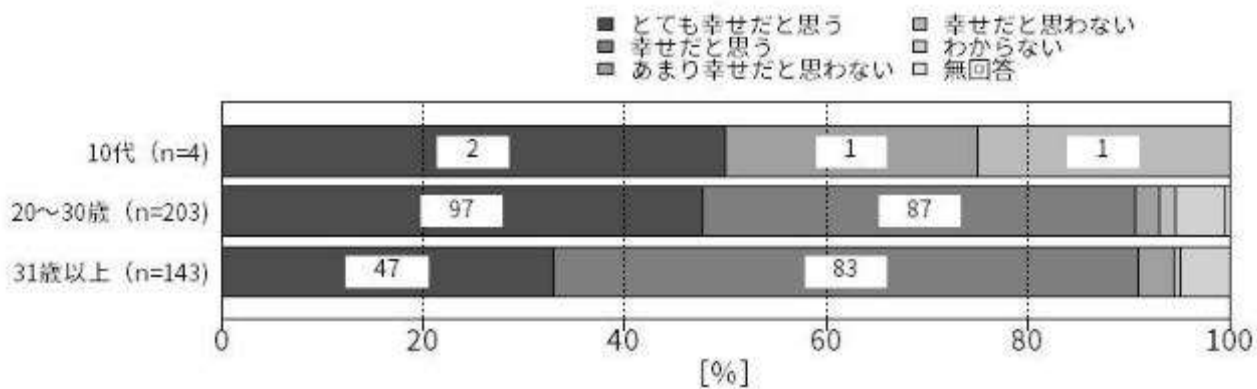


図 108. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（４）幸せだと思う

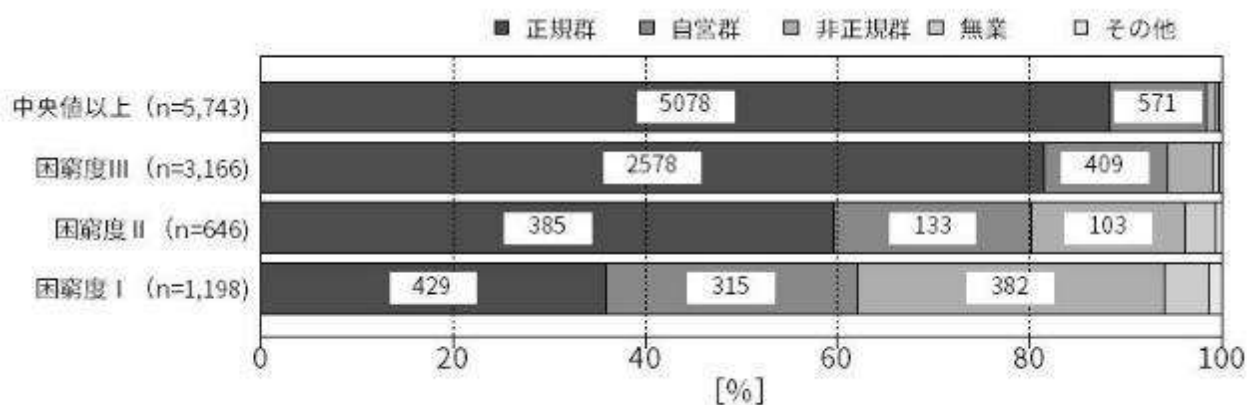
※母親が回答者の場合に限定

10 代群は人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

3-2. 雇用

困窮度別に見た、就労状況（問8）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

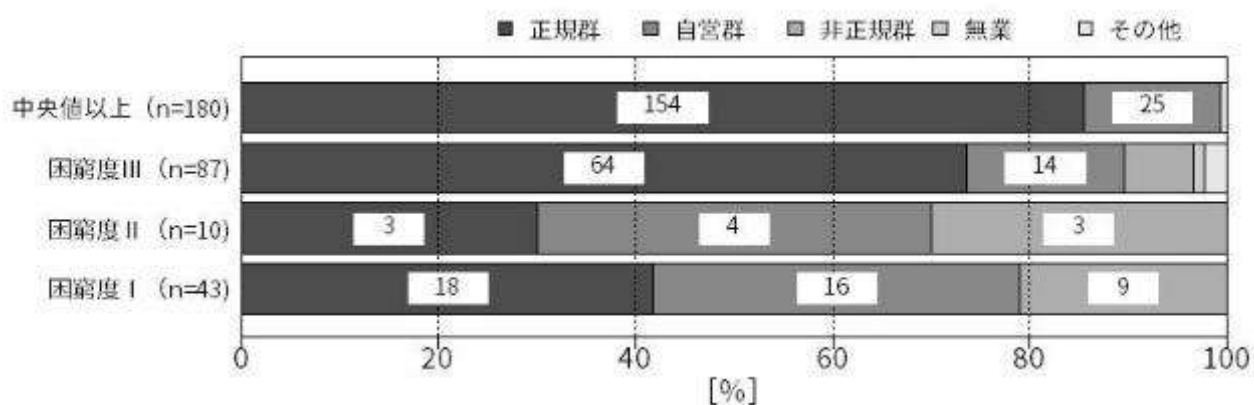


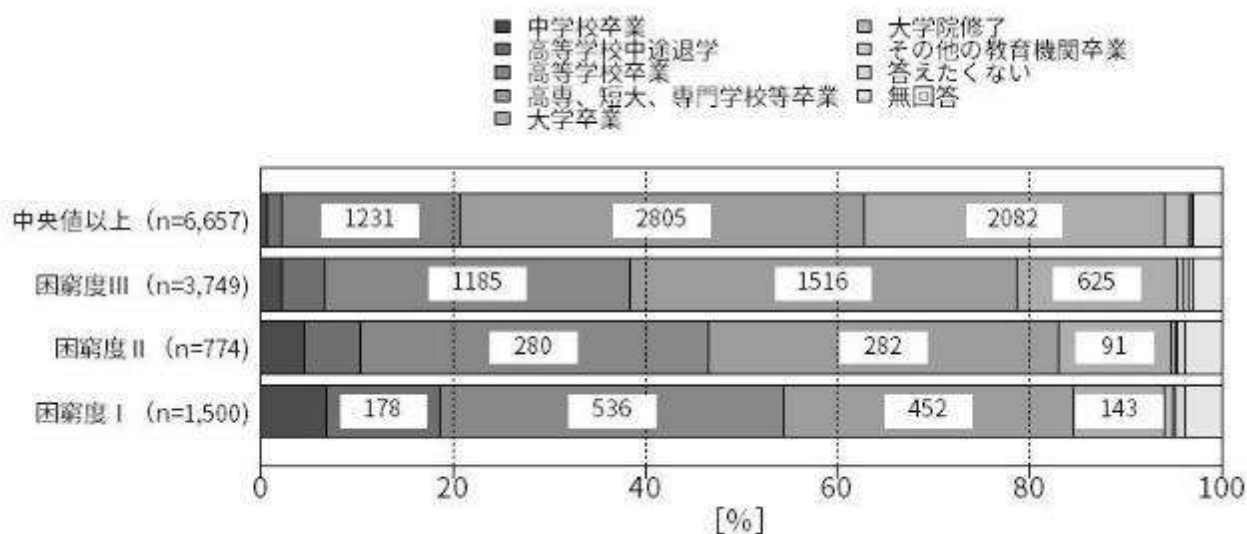
図 109. 困窮度別に見た、就労状況

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度が高まるにつれて、正規群の割合が減り、非正規群・自営群の割合が高まる傾向にあった。困窮度Ⅰ群においては、自営群は37.2%、非正規群は20.9%であった。

困窮度別に見た、母親の最終学歴（問 7-母）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

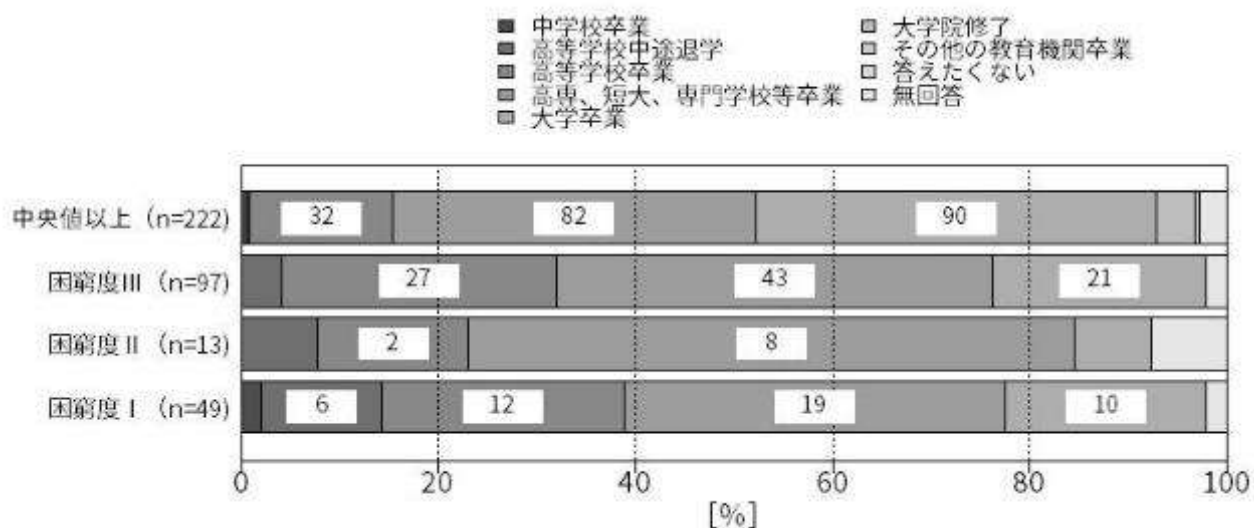


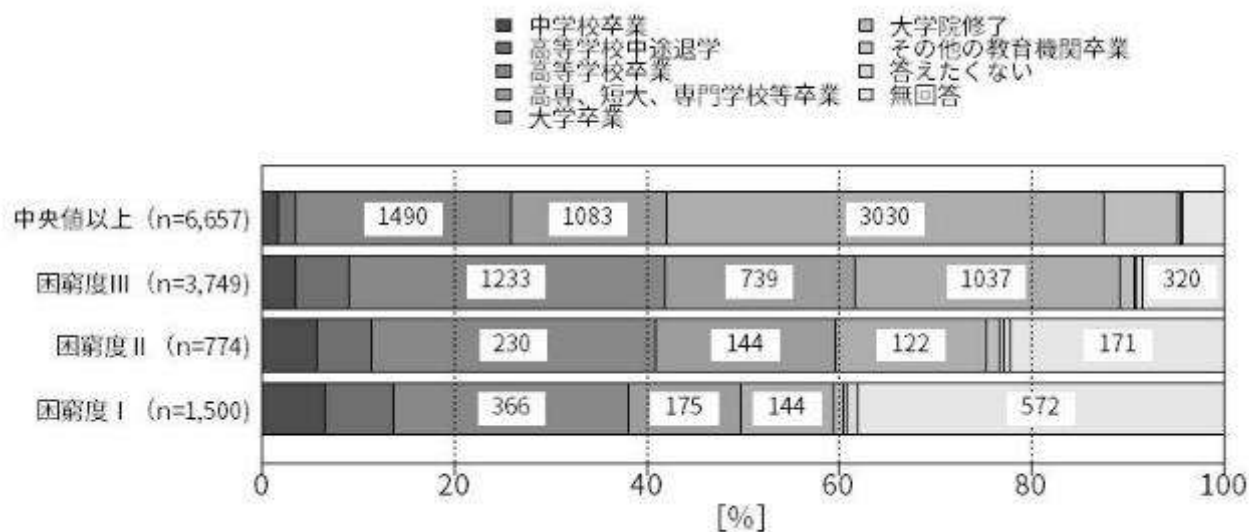
図 110. 困窮度別に見た、母親の最終学歴

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度Ⅰ群で「中学校卒業」は2.0%、「高等学校中途退学」は12.2%であった。

困窮度別に見た、父親の最終学歴（問 7-父）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

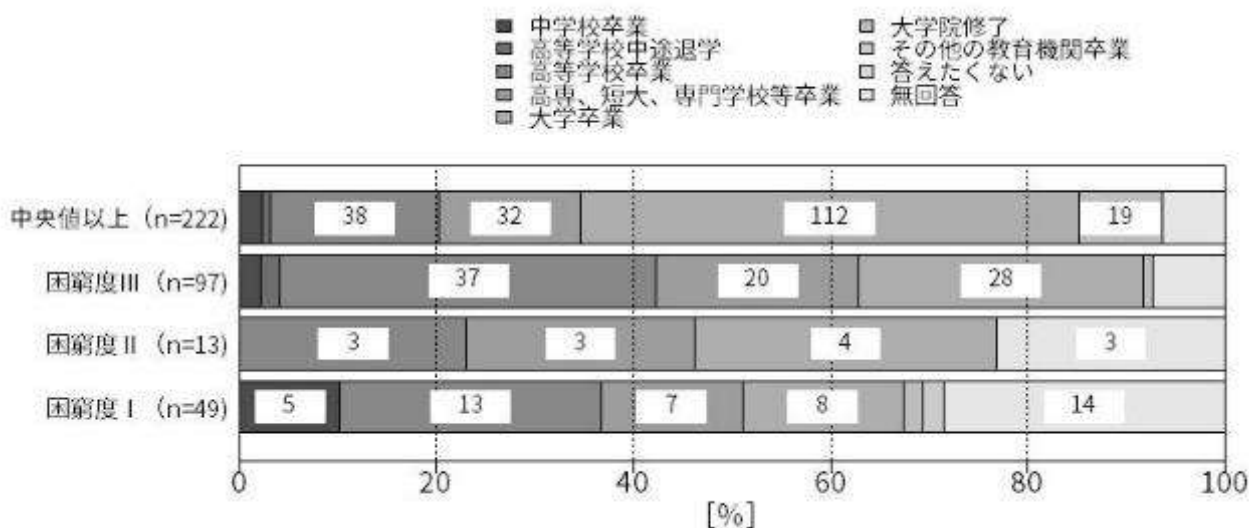
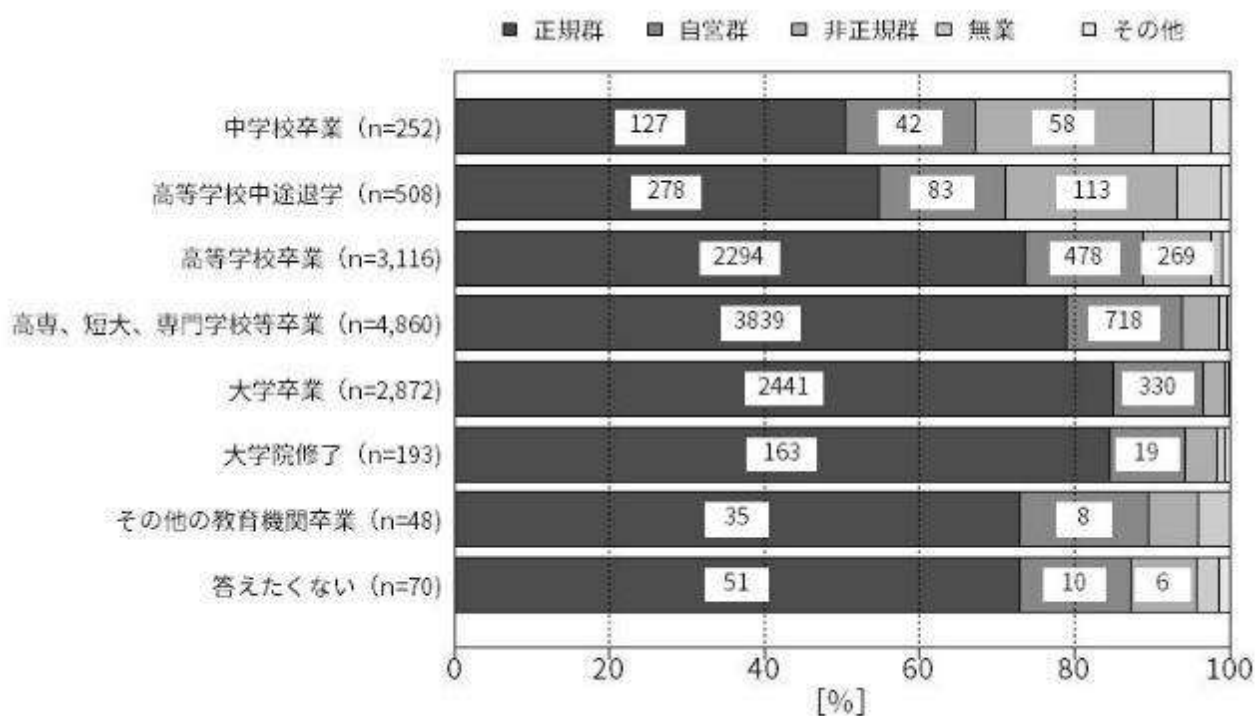


図 111. 困窮度別に見た、父親の最終学歴

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。
 困窮度Ⅰ群で「中学校卒業」は10.2%、「高等学校中途退学」は該当なしであった。

母親の最終学歴別に見た、就労状況（問7×問8）

<大阪市24区>



<大阪市西区>

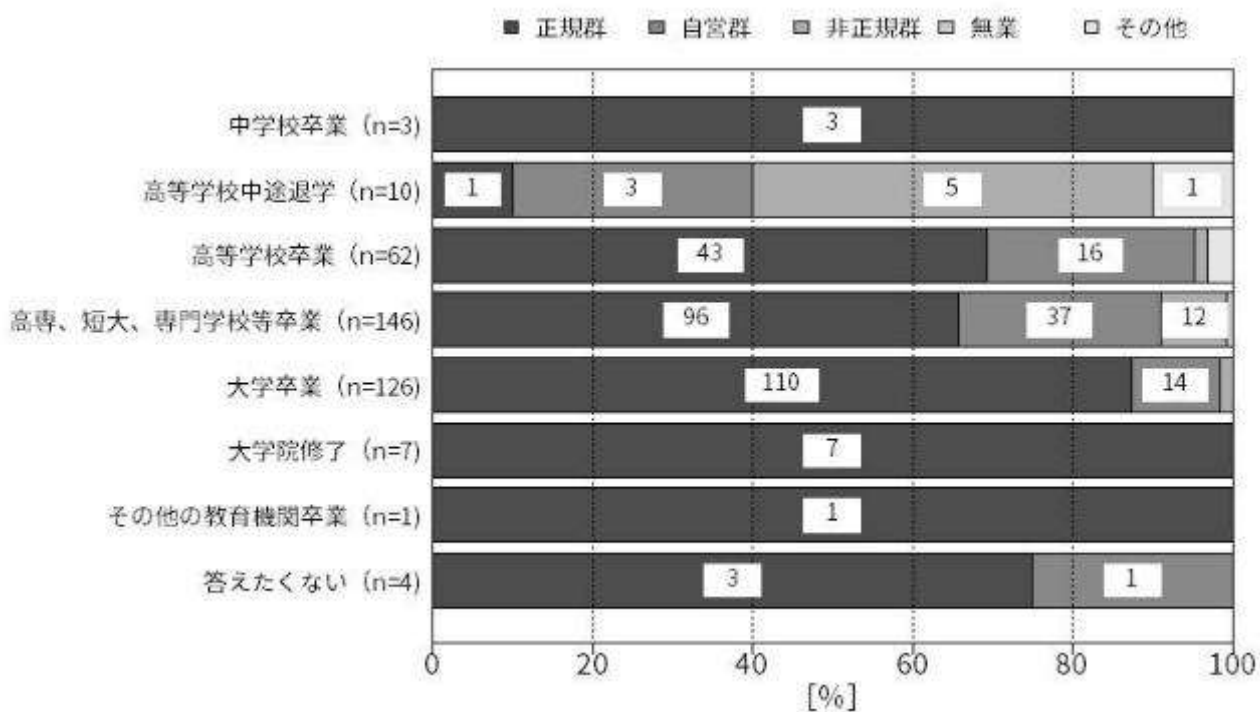
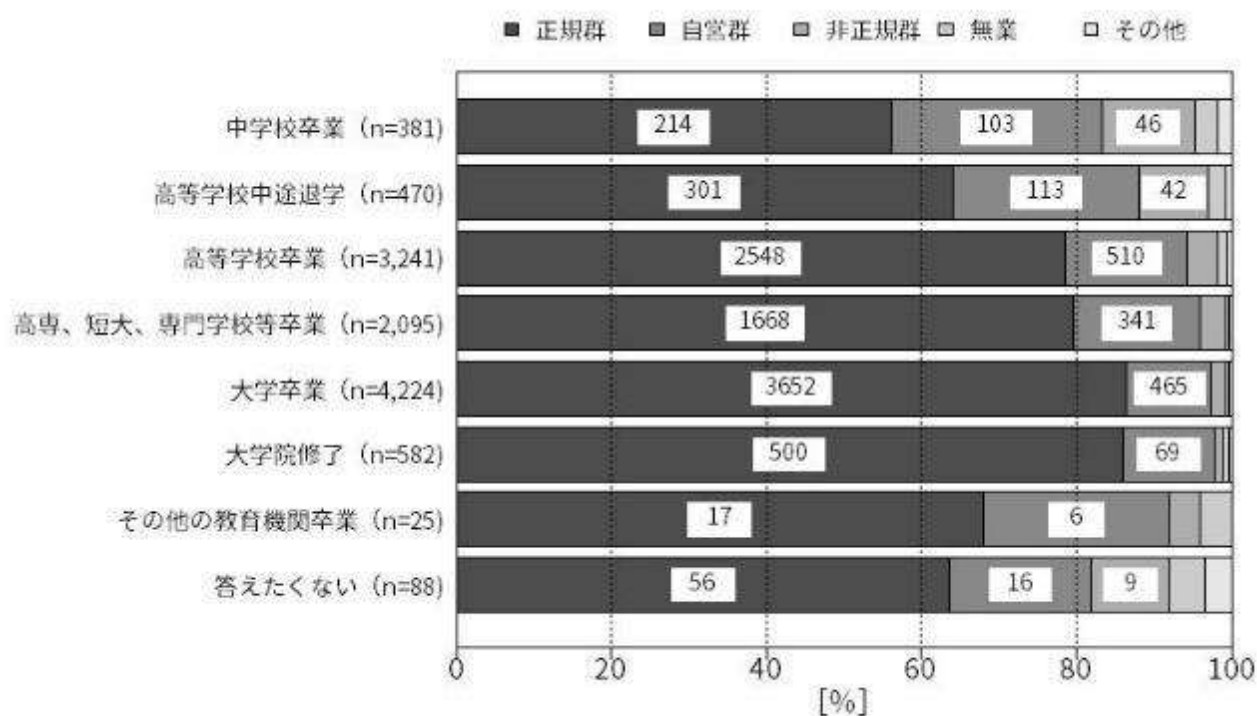


図 112. 母親の最終学歴別に見た、就労状況

学歴が高いほど、正規群の割合が高くなる傾向にあった。高等学校卒業・高専、短大、専門学校卒業では正規群が7割弱、大学卒業では8割を超えている。

父親の最終学歴別に見た、就労状況（問7×問8）

<大阪市24区>



<大阪市西区>

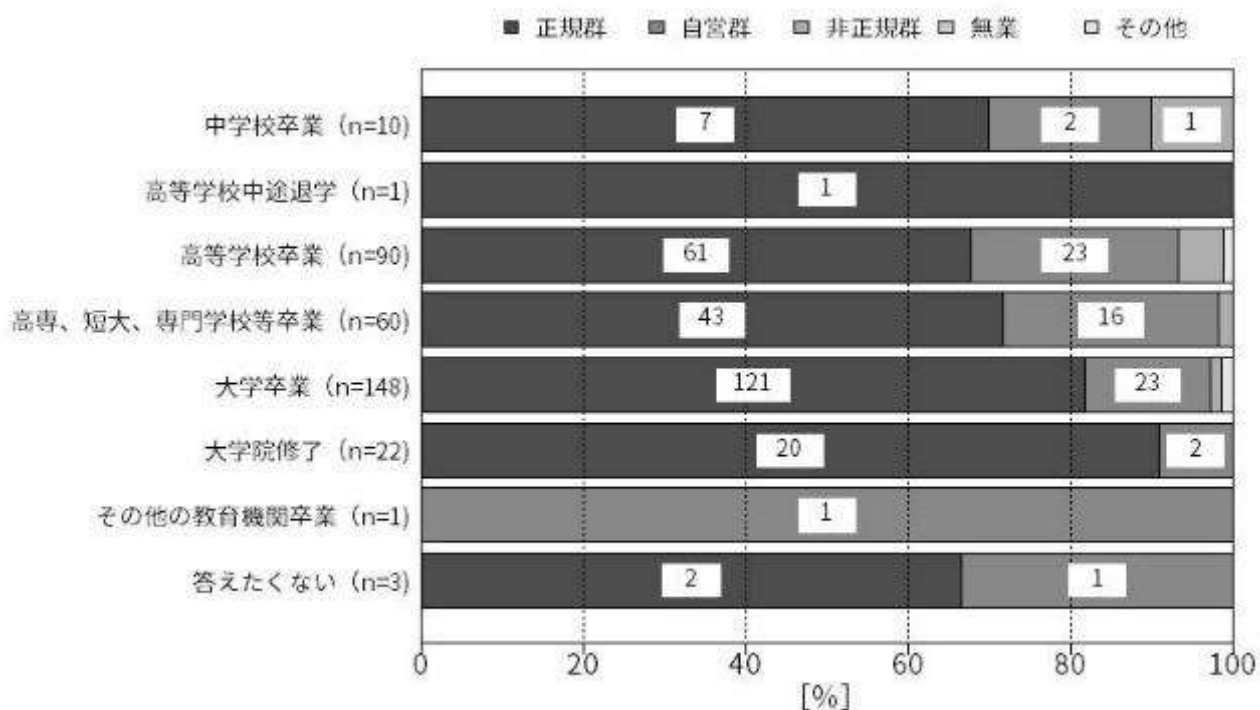
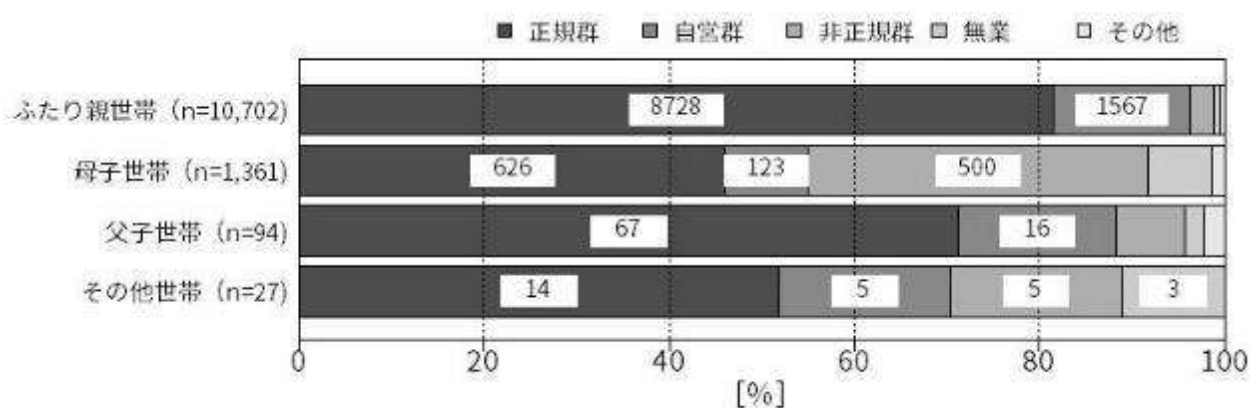


図 113. 父親の最終学歴別に見た、就労状況

学歴が高いほど、正規群の割合が高く、非正規群の割合が低くなる傾向にあった。高等学校卒業における非正規群は 5.6%であった。

世帯構成別に見た、就労状況（問1×問8）

<大阪市24区>



<大阪市西区>

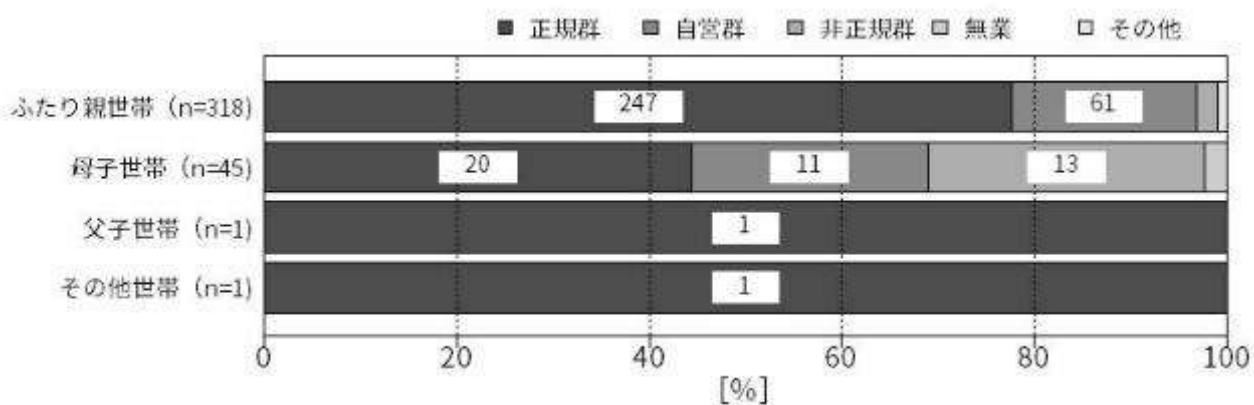
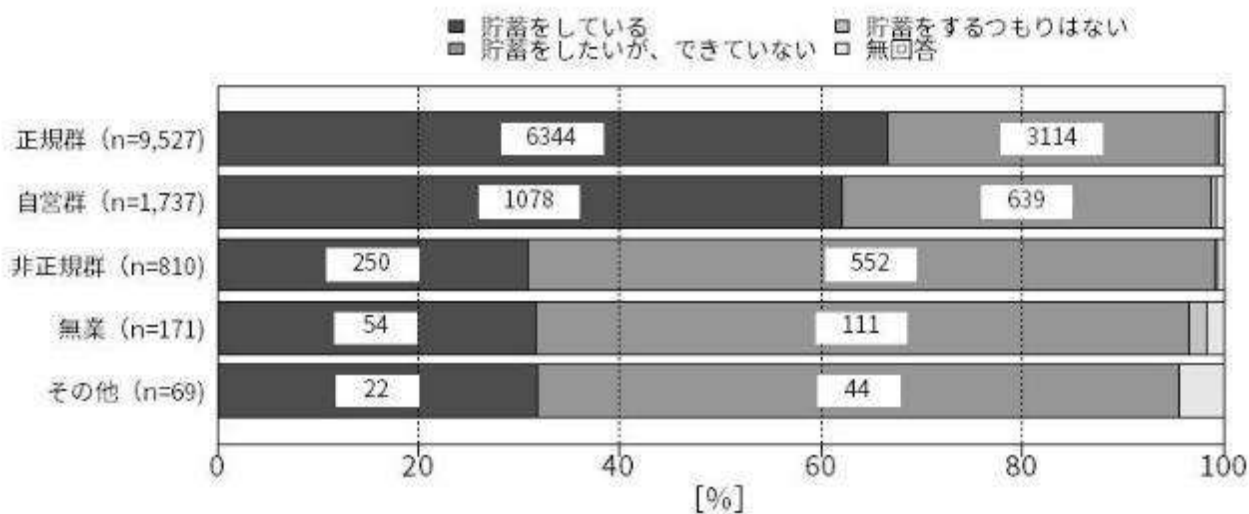


図 114. 世帯構成別に見た、就労状況

ふたり親世帯では、正規群の割合が高い傾向にあった。母子世帯では、正規群の割合が低く、44.4%であった。

就労状況別に見た、子どものための貯蓄（問 8×問 5-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

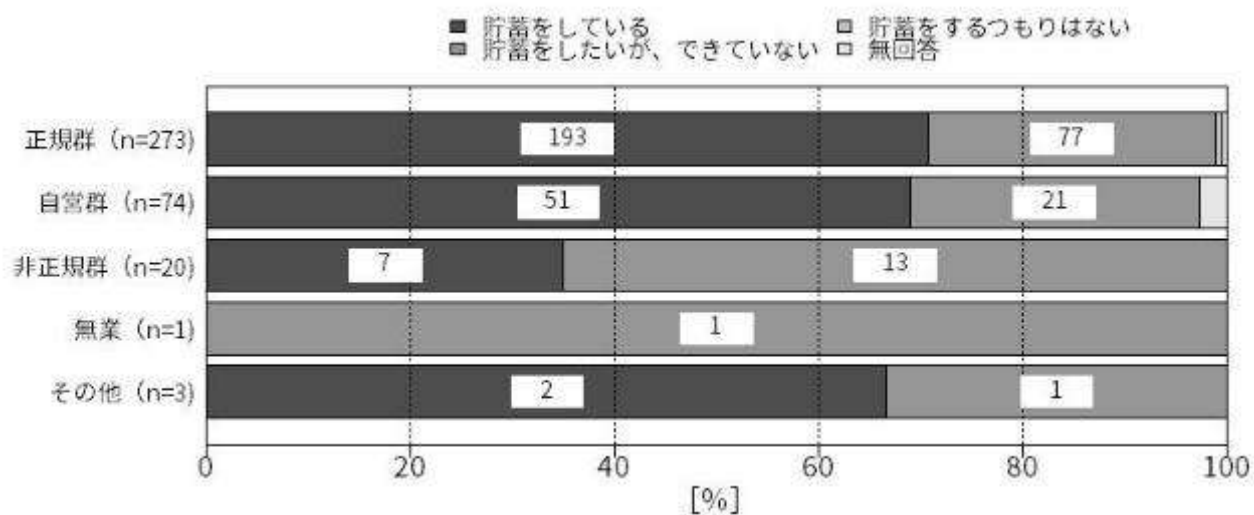
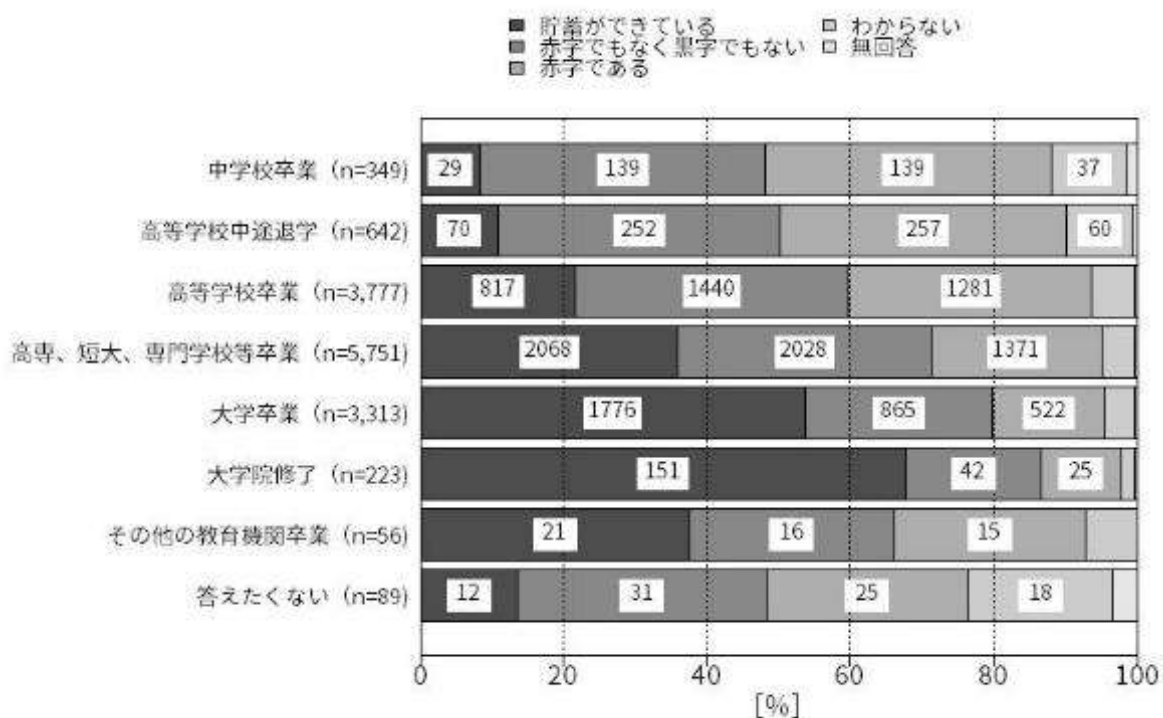


図 115. 就労状況別に見た、子どものための貯蓄

正規群では貯蓄ができている割合が高く、非正規群では貯蓄できている割合が低くなる傾向にあり、35.0%であった。

母親の最終学歴別に見た、家計状況（問 7×問 5-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

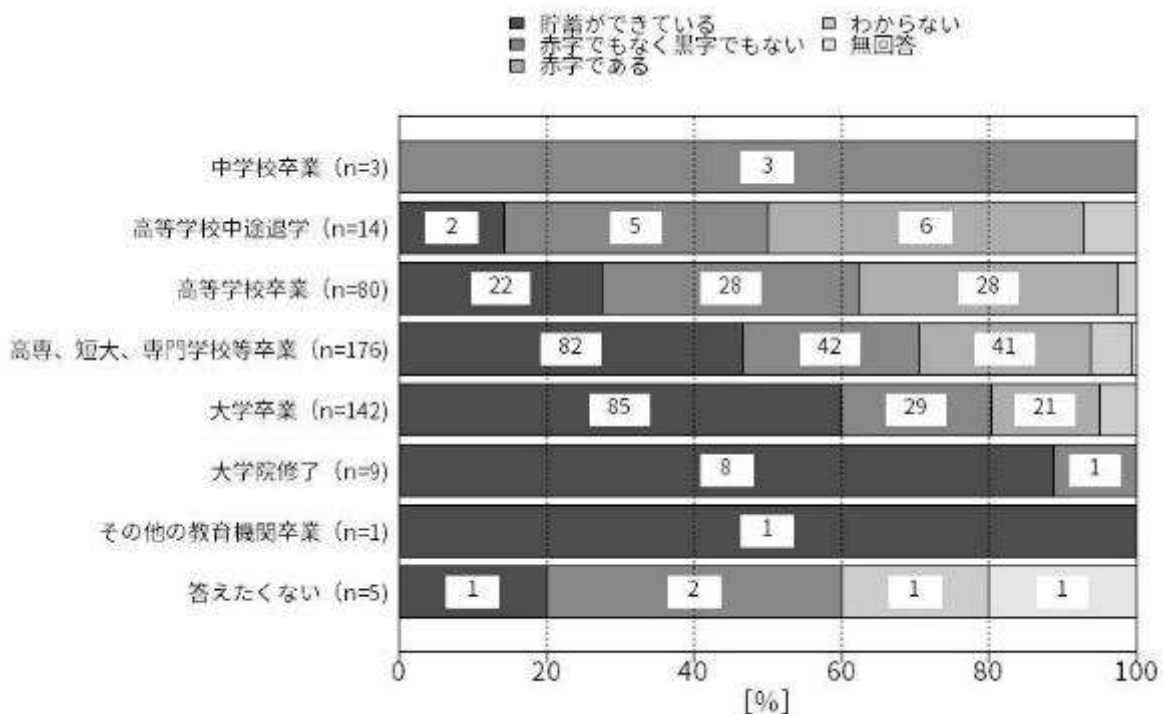
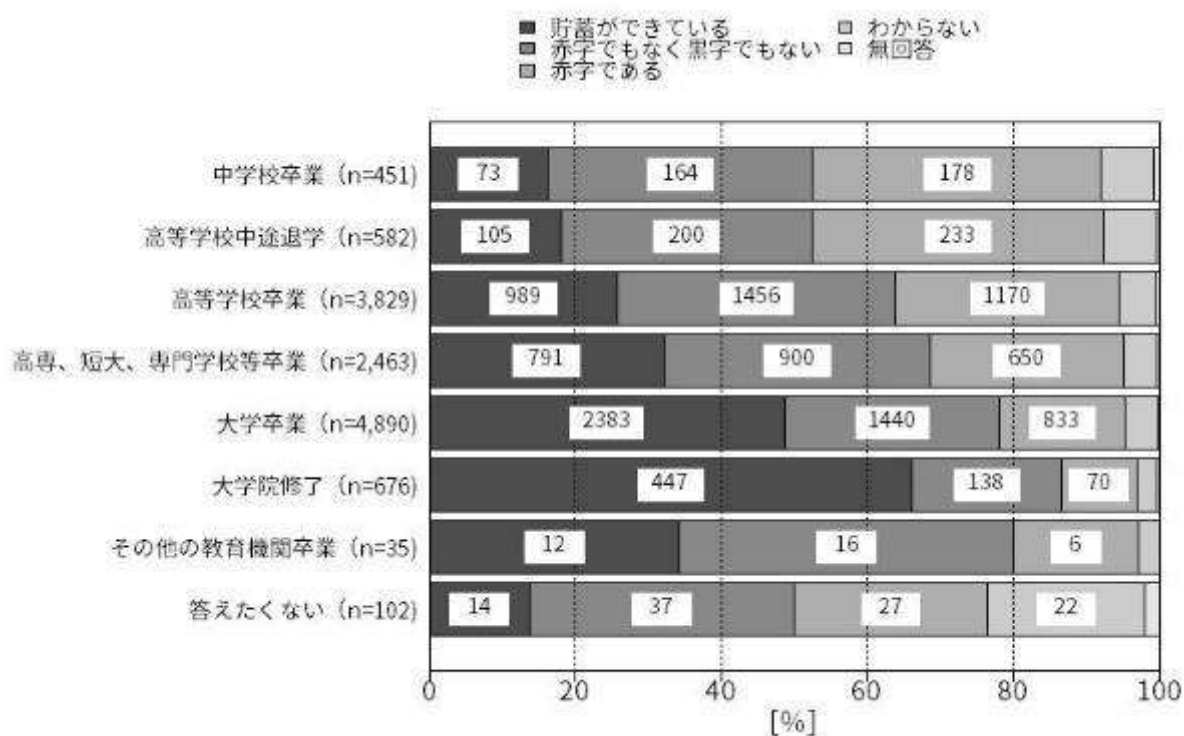


図 116. 母親の最終学歴別に見た、家計状況

学歴が高いほど、貯蓄ができていますの割合が高く、赤字である割合が低くなる傾向にあった。

父親の最終学歴別に見た、家計状況（問 7×問 5-1）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

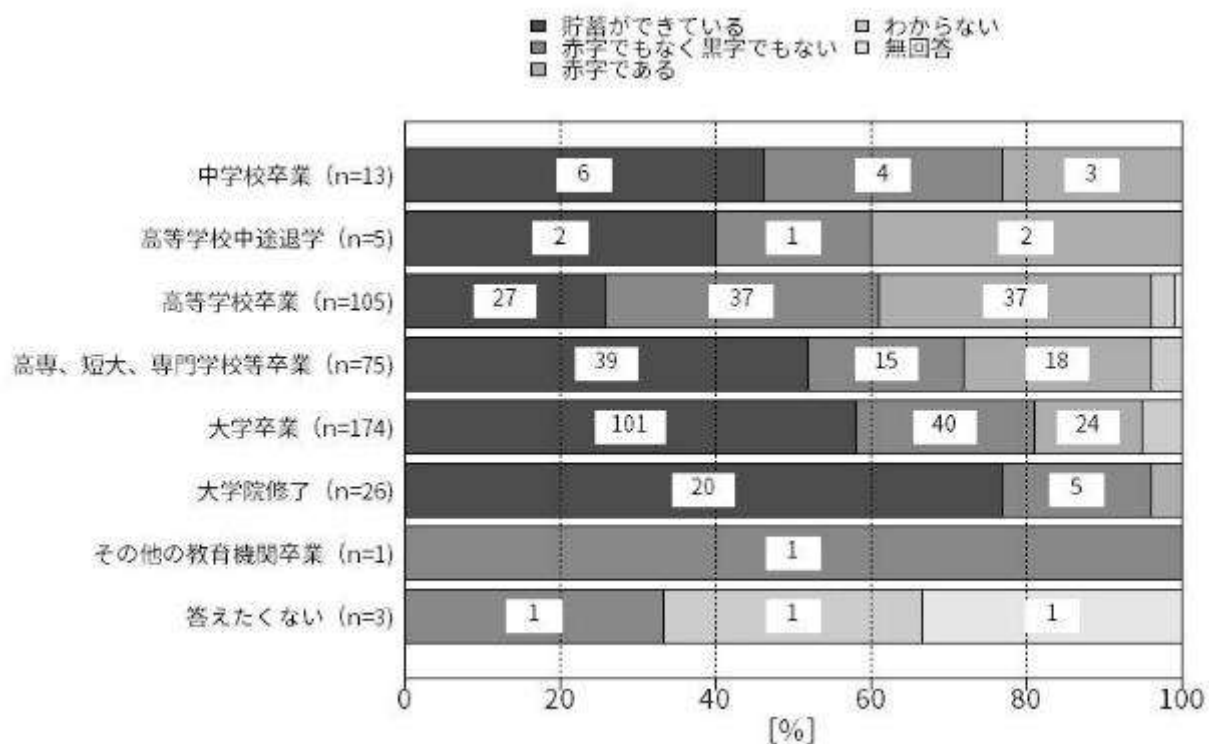
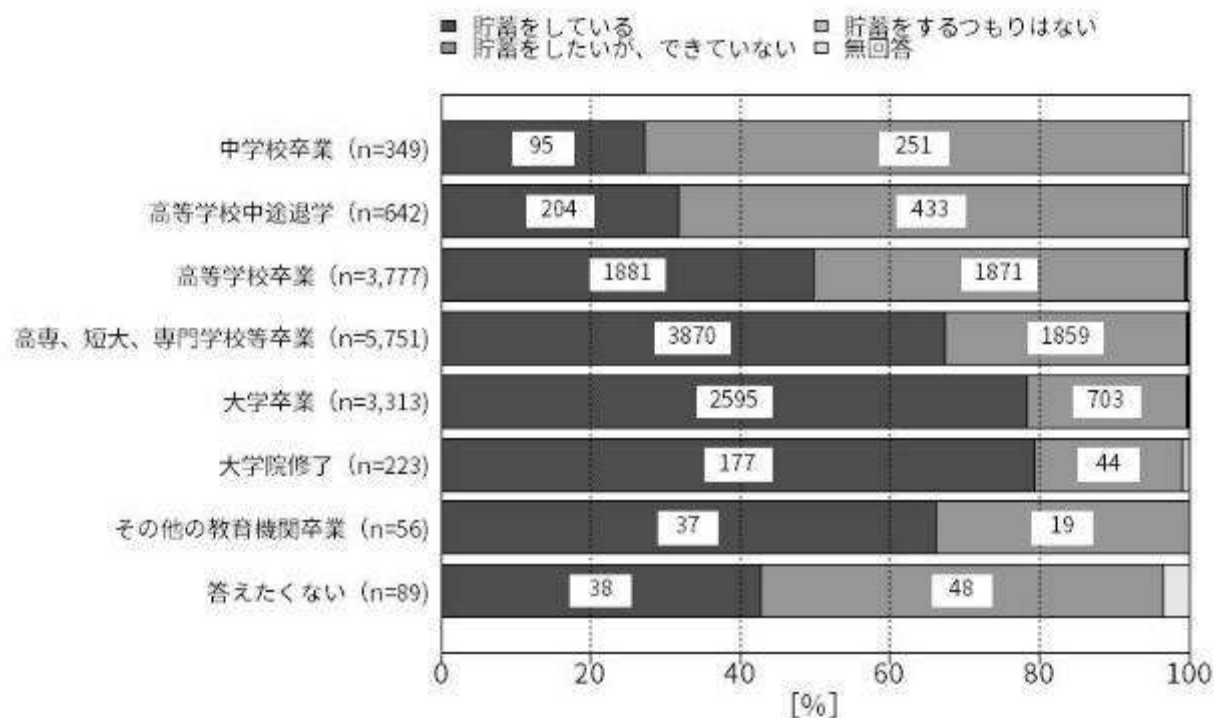


図 117. 父親の最終学歴別に見た、家計状況

学歴が高いほど、貯蓄ができている割合が高く、赤字である割合が低くなる傾向にあった。

母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問7×問5-3）

<大阪市24区>



<大阪市西区>

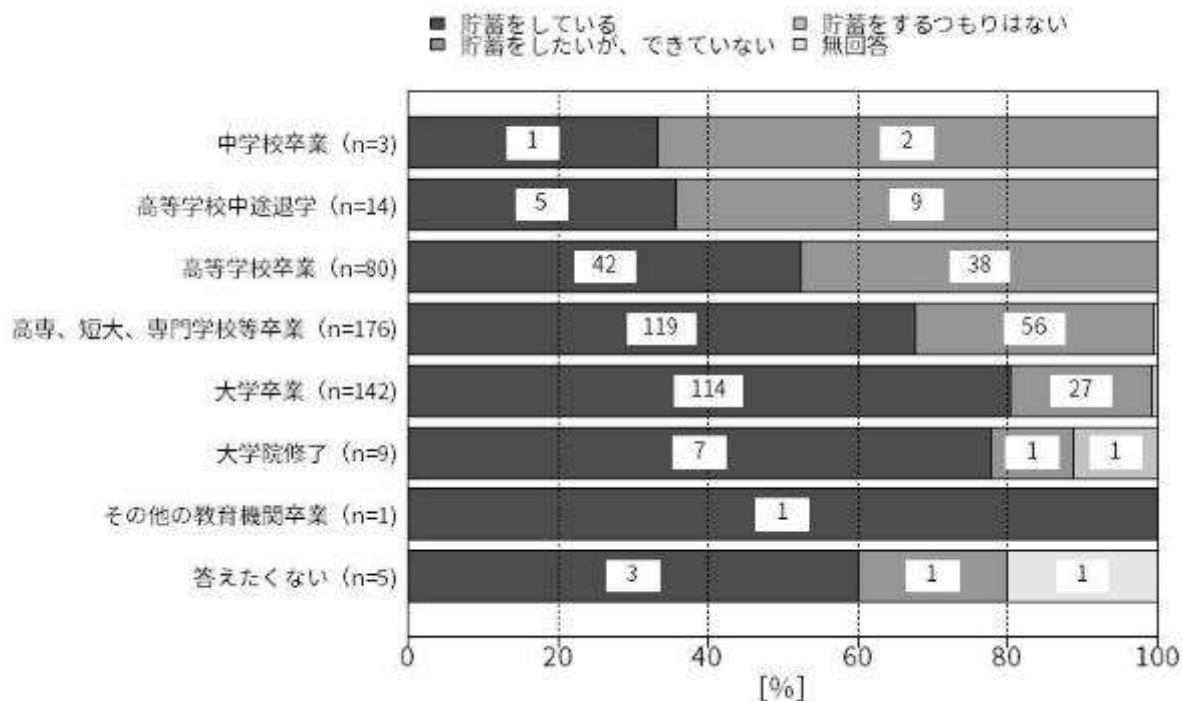
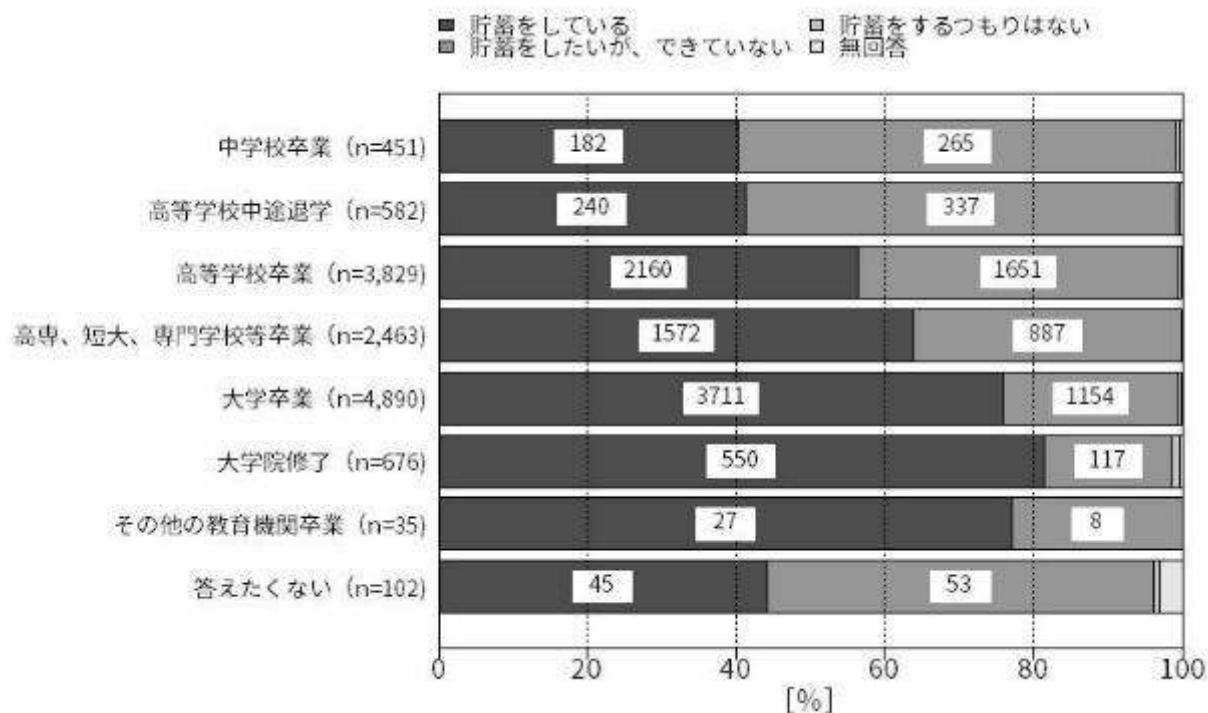


図 118. 母親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

学歴が高いほど、子どものための貯蓄ができている割合が高くなる傾向にあった。大学卒業群では、8割程度であった。

父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄（問 7×問 5-3）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

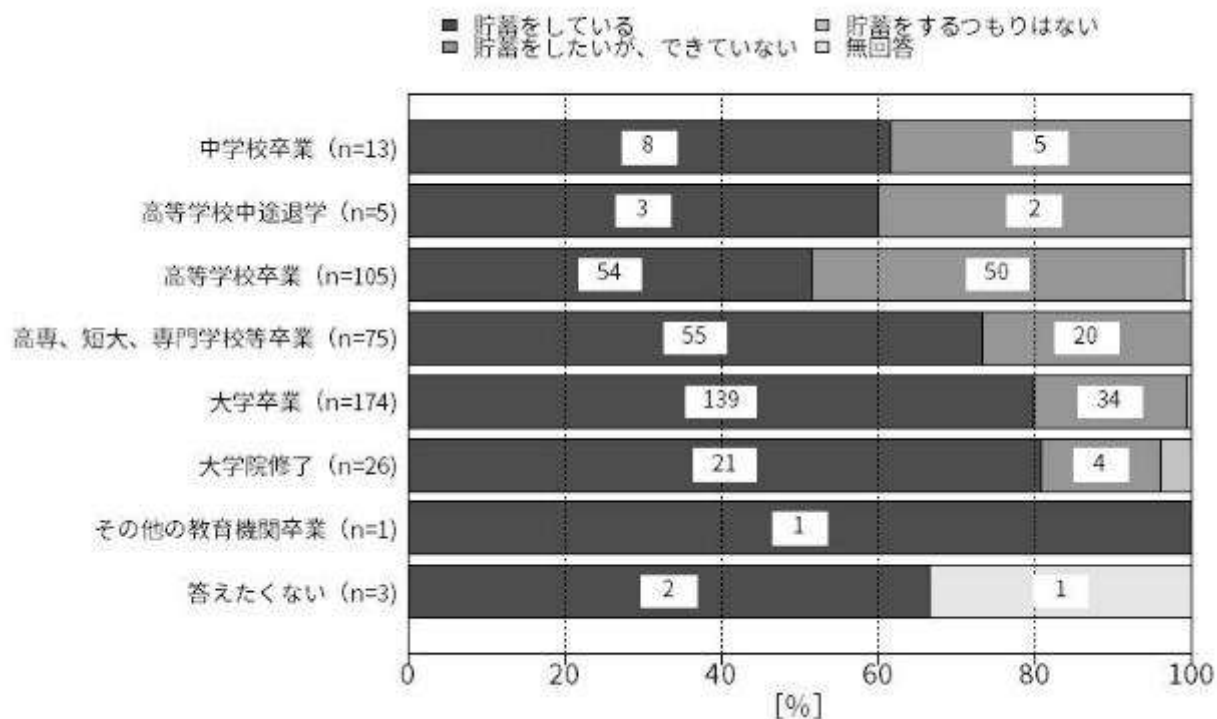


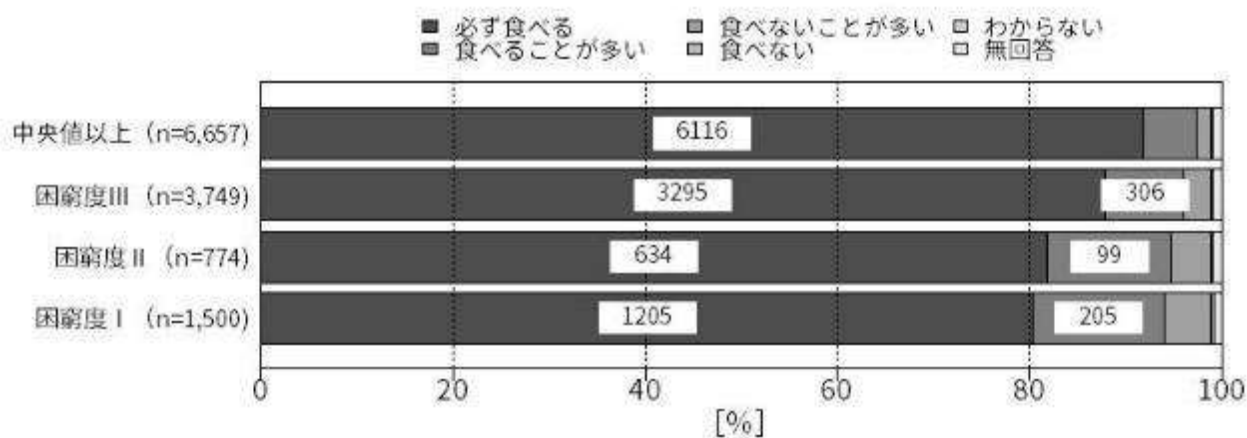
図 119. 父親の最終学歴別に見た、子どものための貯蓄

学歴が高いほど、子どものための貯蓄ができている割合が高くなり、大学卒業群では8割程度であった。

3-3. 健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（問 17）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

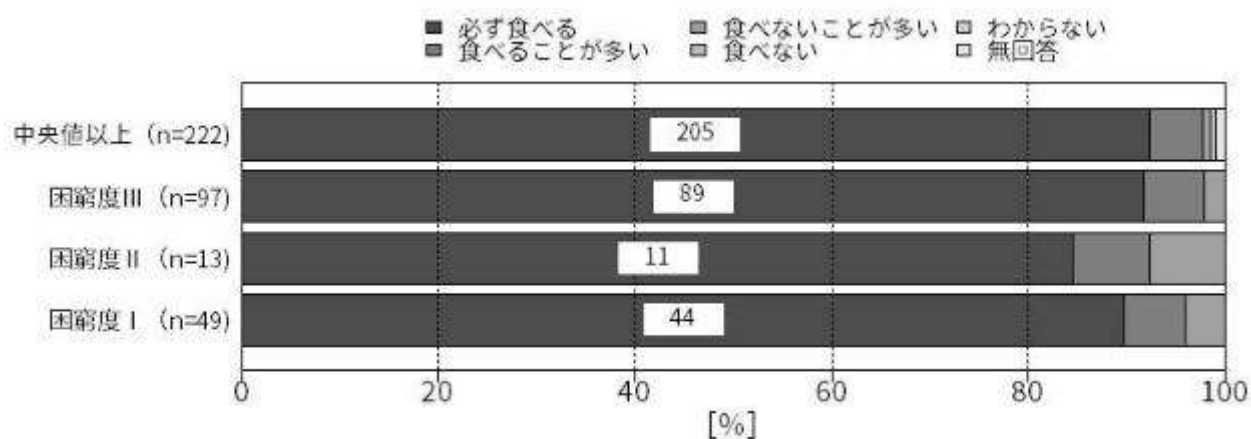


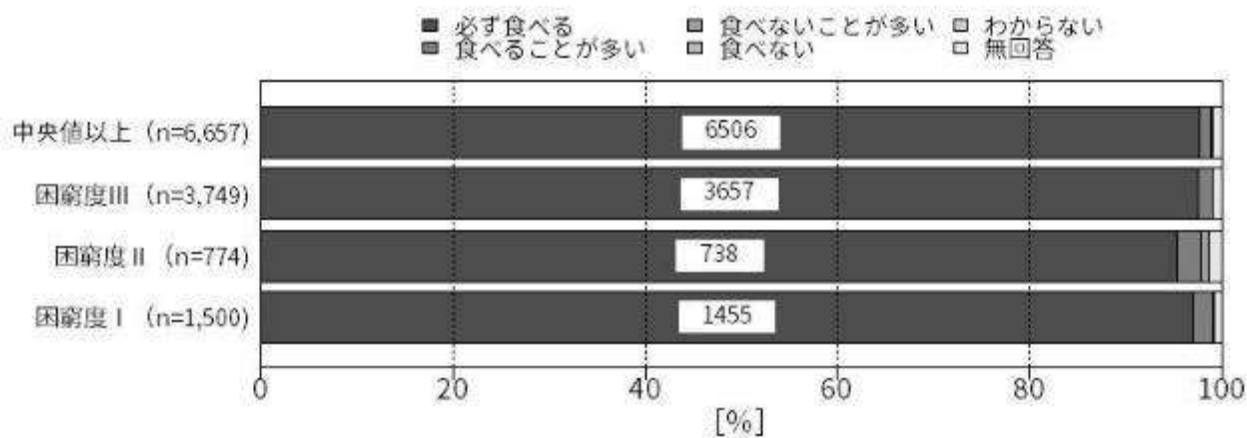
図 120. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度Ⅰ群においては「必ず食べる」の割合が 89.8%となっている。

困窮度別に見た、夕食の頻度（問 20）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

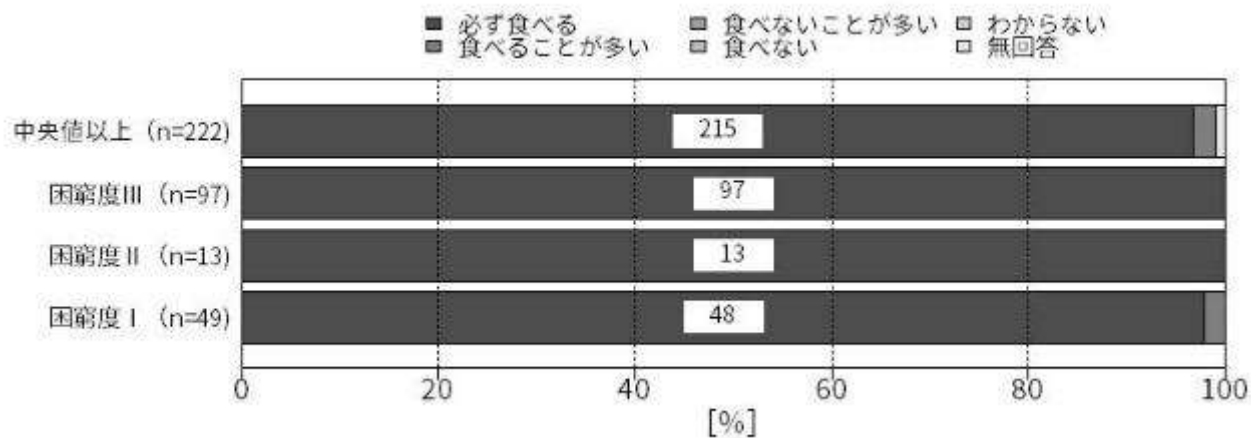
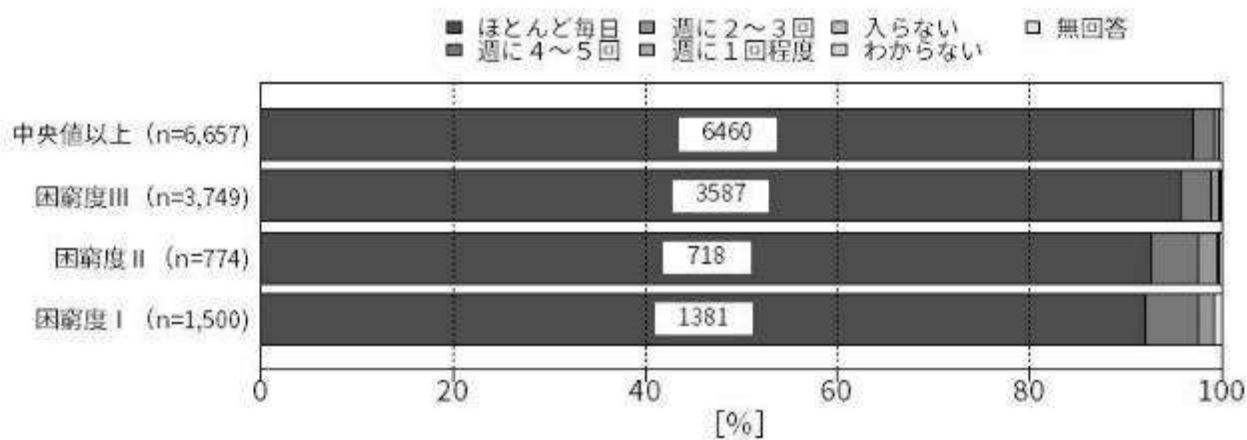


図 121. 困窮度別に見た、夕食の頻度

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。
困窮度によって、大きな差は見られなかった。

困窮度別に見た、入浴頻度（問 23）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

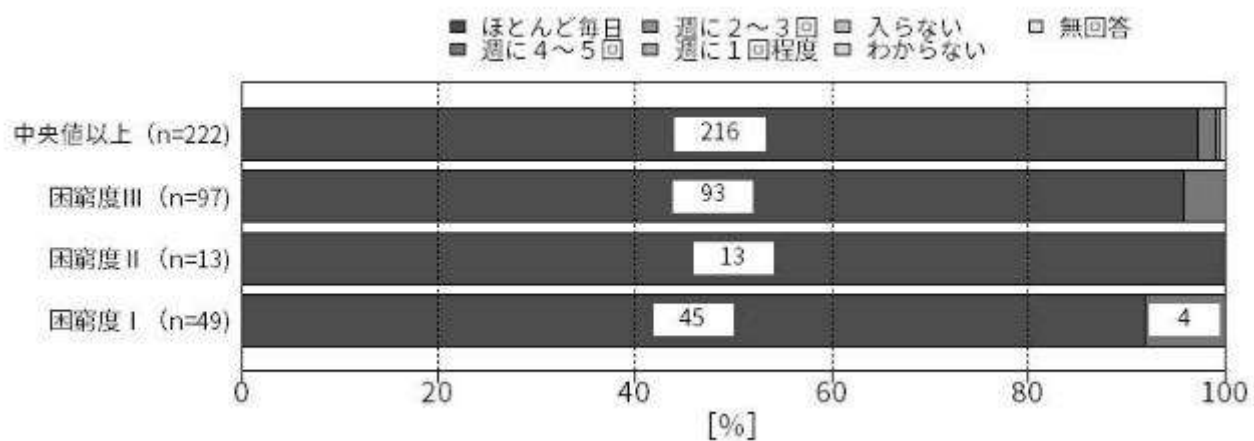


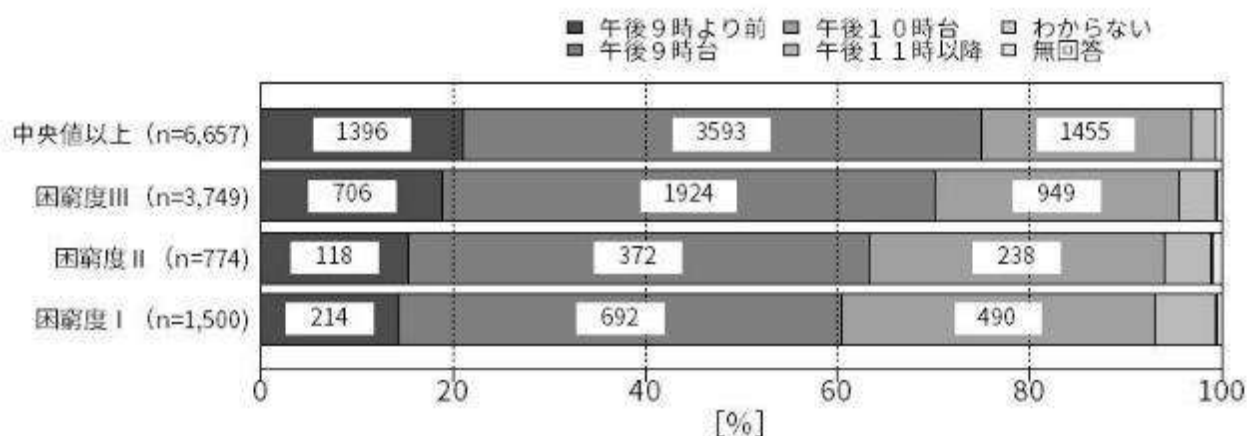
図 122. 困窮度別に見た、入浴頻度

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度が厳しくなるにしたがって、お風呂にほとんど毎日入る頻度が低くなる傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 91.8%となっている。

困窮度別に見た、就寝時間（問 16）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

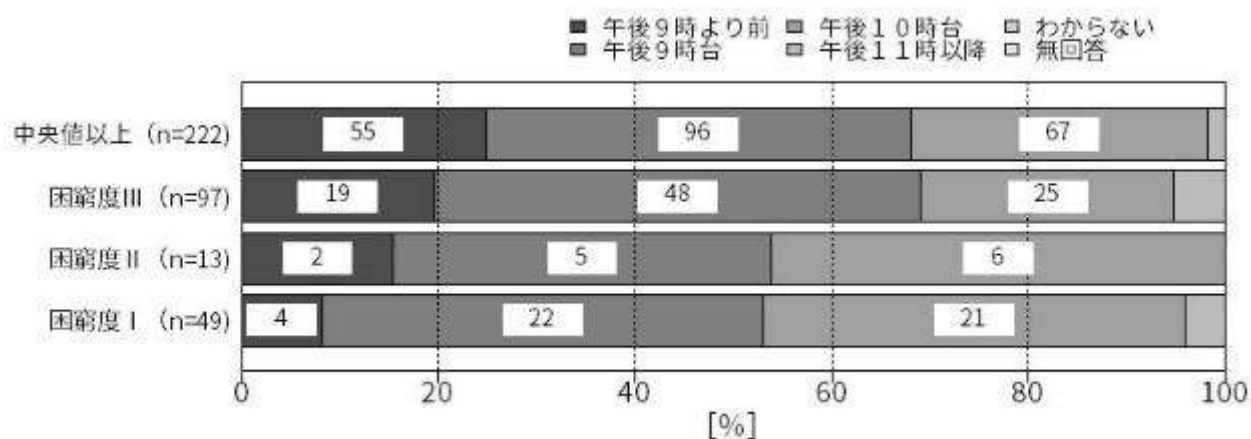


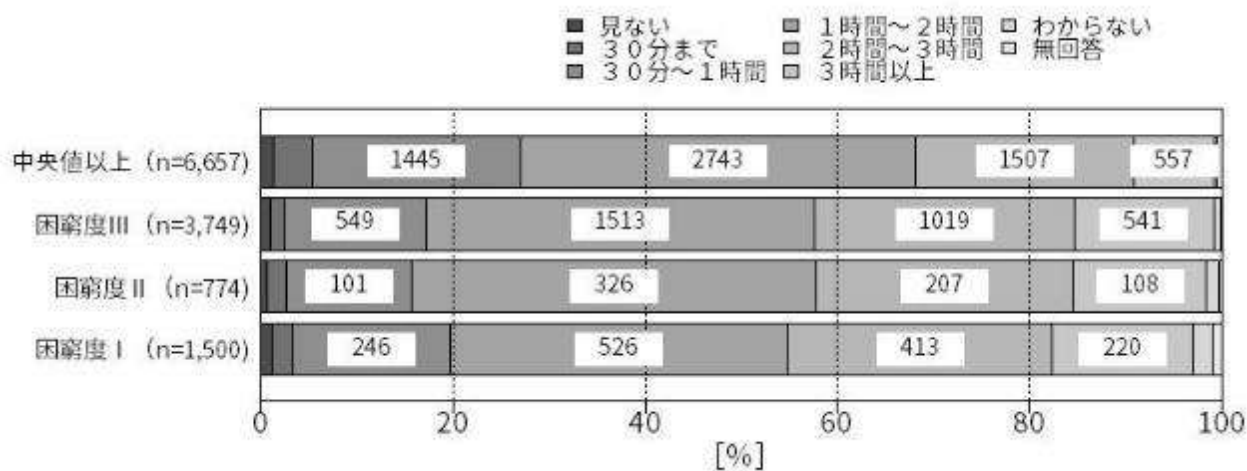
図 123. 困窮度別に見た、就寝時間

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

困窮度が厳しくなるにしたがって、「午後9時より前」という回答が少なくなり、就寝時間が遅くなる傾向にあった。困窮度Ⅰ群においては午後10時台と回答した割合がやや高く、42.9%となっている。

困窮度別に見た、テレビ視聴時間（問 24）

<大阪市 24 区>



<大阪市西区>

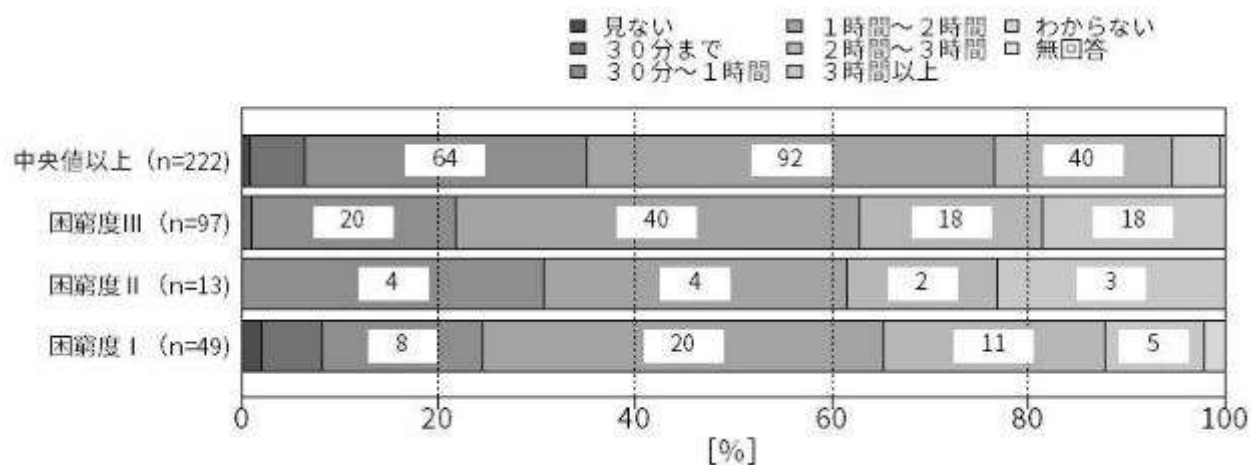


図 124. 困窮度別に見た、テレビ視聴時間

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

中央値以上群では「見ない」～「1時間～2時間」の回答を選択した割合が高く、約8割となっている。